

別記様式(第9条関係)

(その1)

政務活動費収支・実績に関する報告書

令和8年4月30日

(宛先)飯塚市議会議長

会派名
経理責任者名
(又は議員名 藤堂 彰)

令和7年度 政務活動費収支・実績に関する報告について

飯塚市議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項の規定により、次のとおり
令和7年度 政務活動費 収支・実績報告書を提出します。

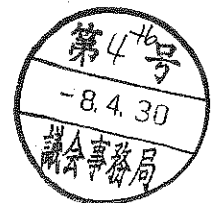
令和7年度 政務活動費収支・実績に関する報告書

1 収入
政務活動費 480,000 円

【内訳 40,000円×12月】

2 支出 553,252 円

3 残額 0 円



(その2)

(単位：円)

| 項目 | 金額 | 内訳 | | 備考 |
|-------|---------|-----------|---------|----|
| | | 科目 | 金額 | |
| 研究研修費 | 421,070 | 会場費 | 0 | |
| | | 講師謝金 | 0 | |
| | | 出席者負担金・会費 | 59,000 | |
| | | 交通費 | 228,470 | |
| | | 宿泊費 | 97,600 | |
| | | その他の経費 | 36,000 | |
| 調査旅費 | 0 | 交通費 | 0 | |
| | | 宿泊費 | 0 | |
| | | その他の経費 | 0 | |
| 資料作成費 | 29,868 | 印刷製本費 | 0 | |
| | | 翻訳料 | 0 | |
| | | 事務機器等購入費 | 0 | |
| | | リース代 | 0 | |
| | | その他の経費 | 29,868 | |
| 資料購入費 | 0 | 資料購入費 | 0 | |
| 広報費 | 102,314 | 広報紙等印刷製本費 | 49,700 | |
| | | 送料 | 42,144 | |
| | | 会場費 | 10,470 | |
| | | その他の経費 | 0 | |
| 広聴費 | 0 | 会場費 | 0 | |
| | | 印刷製本費 | 0 | |
| | | その他の経費 | 0 | |

備考

- 1 備考欄には主たるものを記入すること。
- 2 領収書その他具体的に支出の内容を明らかにした書面の証拠書類を添付すること。

(別添様式1)

政 務 活 動 費 収 支 報 告 明 細 書

(会派(議員) 藤堂 彰)

(研究研修費、1枚中 1枚)

| 支出年月日 | 科 目 | 内 容 | 金額 (円) | 備 考 |
|------------|-----------|------------------|---------|-------------|
| R7. 4. 15 | 交通費 | | 26,420 | 新幹線利用 |
| ～ | 宿泊費 | 全国若手議員の会 全国研修@姫路 | 13,300 | 13,300円×1日 |
| R7. 4. 16 | その他の経費 | | 6,000 | 日当3,000円×2日 |
| R7. 7. 27 | 出席者負担金・会費 | | 30,000 | 受講料 |
| ～ | 交通費 | 地方議員研究会主催 研修会 | 30,400 | 新幹線利用 |
| ～ | 宿泊費 | | 14,800 | 14,800円×1日 |
| R7. 7. 28 | その他の経費 | | 6,000 | 日当3,000円×2日 |
| R7. 8. 7 | | | | |
| ～ | 交通費 | 全国若手議員の会 | 4,600 | 電車代 |
| R7. 8. 8 | | 九州ブロック研修会@福岡 | | |
| R7. 8. 18 | 交通費 | | 30,340 | 新幹線利用 |
| ～ | 宿泊費 | 全国若手議員の会 | 26,600 | 13,300円×2日 |
| R7. 8. 20 | その他の経費 | 第33回全国総会・研修会@徳島 | 6,000 | 日当3,000円×2日 |
| R7. 10. 22 | 出席者負担金・会費 | | 29,000 | 参加費 |
| ～ | 交通費 | 第30回清溪セミナー | 40,560 | 飛行機代等 |
| ～ | 宿泊費 | | 14,800 | 14,800円×1日 |
| R7. 10. 23 | その他の経費 | | 6,000 | 日当3,000円×2日 |
| R7. 11. 12 | 交通費 | | 14,430 | 電車代等 |
| ～ | 宿泊費 | 全国若手議員の会 | 13,300 | 13,300円×1日 |
| R7. 11. 13 | その他の経費 | 九州ブロック研修会@長崎 | 6,000 | 日当3,000円×2日 |
| R8. 1. 28 | 交通費 | | 81,720 | 飛行機代等 |
| ～ | 宿泊費 | 全国若手議員の会 | 14,800 | 14,800円×1日 |
| R8. 1. 29 | その他の経費 | 政調部会プレ研修・研究会@仙台 | 6,000 | 日当3,000円×2日 |
| | 会場費 | | 0 | |
| | 講師謝金 | | 0 | |
| 小 計 | 出席者負担金・会費 | | 59,000 | |
| | 交通費 | | 228,470 | |
| | 宿泊費 | | 97,600 | |
| | その他の経費 | | 36,000 | |
| 合 計 | | | 421,070 | |

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 藤堂 彰)

(研究研修費、No. /)

(領収証等貼付箇所)

領収証

2025年7月28日

藤堂彰様

★ ￥30,000-

但 7/28 研修会 会費代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒221-0042

神奈川県横浜市神奈川区清見町262-29

TEL 050-1089-9835



No. 79

領 収 書

福岡県

藤堂彰様

2025年10月22日

¥29,000.-

第30回清溪セミナー参加費として上記の金額を領収いたしました

清溪セミナー実行委員

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘

日本青年館

TEL 03-6452-9015



政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 藤堂 彰)

(研究研修費、No. 2)

(領収証等貼付箇所)

領 収 証

No. Web250531165705
発行日：2025年05月31日

トウドウ アキラ 様

¥48,400-

お支払い方法： クレジット決済

10%対象 ¥48,400-(税込) 消費税 ¥4,400-
*旅客毎の消費税額は参考額です

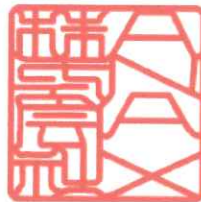
出発日 2025年10月22日
帰着日 2025年10月23日
旅行日数 2日間

但し、ご旅行代金として

上記金額 正に領収いたしました。

ANA X株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-14-1
フロントプレイス日本橋
事業者番号 T8010401127771



CG443591
①お客様用

バック代内訳 宿泊費：14,800円
飛行機代：(18,300 - 1,500) × 2 (往復) = 33,600円
バック代：14,800円 + 33,600円 = 48,400円

令和7年 3月吉日

全国若手議員の会 各位

全国若手議員の会
会 長 高橋 保
政策調査部会長 中村 亮太

全国若手議員の会 全国研修@姫路のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より当会の活動に対しまして、格別のご高配とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、表題の件につきまして下記の通り実施することとなりました。ご多忙の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加賜りますようお願い申し上げます。なお、出欠席に関しましては、大変お手数ですが4月5日(土)までに下記Googleフォームにてお申込み下さい。皆さまのご参加をお待ちしております。

敬具

記

【開催日】 令和7年4月15日(火) 13時～17時
令和7年4月16日(水) 9時～12時

【場 所】 4月15日アクリエ姫路会議室407、4月16日姫路市役所

【参加費】 会員：無料 オブザーバー参加：2,000円

※オブザーバー参加費は「未加入の全若対象者」が対象です。会員のインターン等は無料です。オンライン参加でのオブザーバー参加希望者はお問い合わせください。

【お申込】 <https://forms.gle/vD1UpqqPnHXTDzHc6>

【日 程】 下記スケジュールを予定しております。

【申込期限】 令和7年4月5日(土)

<1日目>

2025年4月15日(火)

会場：アクリエ姫路会議室407

兵庫県姫路市神屋町143-2 (<https://www.himeji-ccc.jp/access.html#access>)

■役員会(対象者のみ) 11:30～

※参加者には昼食のお弁当を準備します。(昼食代：1,000円)

■受付開始 12:30～

■研修① 13:00～ 講演及び討論

講師：Climate Integrate 代表理事 平田 仁子 氏

内容：気候政策シンクタンクであり、調査分析と情報提供を行い、科学と政治と社会をつなぐ統合的なアプローチでさまざまなアクターの脱炭素への取り組みを支援しているClimate Integrateの平田代表理事から、気候変動の最新情報と取るべき政策について講演をいただきます。

討論：講演内容を踏まえた議員間の討論を行います。

■研修② 15:00～

講師：大阪経済大学准教授 秦 正樹 氏

内容：政治学（政治行動論・政治心理学・実験政治学）のアプローチから、有権者の投票行動について社会調査を用いた計量分析による論文や寄稿を多くされている大阪経済大学の秦准教授から、SNSやそれを取り巻く陰謀論と有権者の投票行動の変化について講演をいただきます。

討論：講演内容を踏まえた議員間の討論を行います。

<2日目>

2025年4月16日（水）

会場：姫路市役所

兵庫県姫路市安田四丁目1番地

姫路駅より市役所バスでの送迎があります。（8：30集合・出発）

■研修③

姫路駅前の再開発について

ウォークアブル推進計画について

<https://www.city.himeji.lg.jp/sangyo/00000171111.html>

■研修④（エクスカージョン）

姫路城見学（姫路市のご厚意で無料です）

■解散 12:30ごろ

姫路駅まで、ウォークアブルなまちづくりの対象となる商店街を歩きましょう！

備考欄：

<オープンチャット>

連絡事項や資料等を送ります。

ご参加お願いいたします！

| 令和 7年度 | | 1 会計 | | (款) 1 | (項) 1 | (目) 1 | (節) 8 | (細節) 1 費用弁償 | | | |
|--------|-------------|------|------------------|--------|-------|--------|-------|-------------|-----|--------|--|
| 旅行者 | 氏名 藤堂彰 | 用務 | 全国若手議員の会 全国研修@姫路 | | | | 備考 | 藤堂彰 | | | |
| | | 用務地 | 兵庫県姫路市 アクリエ姫路 | | | | | ※パックなし | | | |
| 月日 | 発着駅名 | 経由 | 鉄道賃 | | | | JET賃 | 日当 | 宿泊料 | | |
| | | | 旅程 | 運賃 | 超・特・急 | 料金計 | | | 宿泊地 | 定額 | |
| 4 15 | 新飯塚 ~ 姫路 | 小倉 | 509.3 | 8,590 | 4,620 | 13,210 | | 3,000 | 姫路市 | 13,300 | |
| | 16 姫路 ~ 新飯塚 | 小倉 | 509.3 | 8,590 | 4,620 | 13,210 | | 3,000 | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 経伺番号 | | 計 | | 17,180 | 9,240 | 26,420 | 0 | 6,000 | | 13,300 | |
| | | | | | | | | 合計金額 | | 45,720 | |

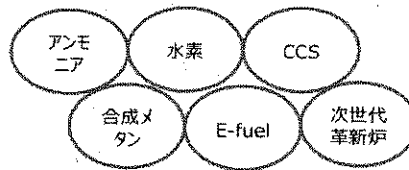
政務活動費 研修会等報告書

(会派 (議員) 名 藤堂彰)

| | |
|------|---|
| 日時 | 令和 7年 4月 15日～16日 |
| 研修内容 | <p>(研修名：全国若手議員の会 研修会～h目地～)</p> <p>■研修1 講演及び討論 講師：Climate Integrate 代表理事 平田 仁子 氏 内容:気候政策シンクタンクであり、調査分析と情報提供を行い、科学と政治と社会をつなぐ統合的なアプローチでさまざまなアクターの脱炭素への取り組みを支援しているClimate Integrateの平田代表理事から、気候変動の最新情報と取るべき政策についての講演。</p> <p>■研修2 講師：大阪経済大学准教授 秦 正樹 氏 内容:政治学（政治行動論・政治心理学・実験政治学）のアプローチから、有権者の投票行動について社会調査を用いた計量分析による論文や寄稿を多くされている大阪経済大学の秦准教授から、SNSやそれを取り巻く陰謀論と有権者の投票行動の変化についての講演。 場所：会場:アクリエ姫路会議室407（兵庫県姫路市神屋町143-2）</p> <p>■研修3 姫路駅前の再開発とウォークアブル推進計画について 場所：姫路市役所</p> |
| 所管等 | <h2>研修1</h2> <p>気候変動は全ての要因の元である可能性がある。 地球の平均気温（西暦0年ー2100年見通し）</p> <ul style="list-style-type: none">・2021年報告では、産業革命前から1.1℃上昇（IPCC:気候変動に関する政府間パネル）・その後も上昇を続け、2024年単年では、1.55℃上昇（世界気象機関：WMO） <p>化石燃料の消費が最大の課題。 温室効果ガス排出量の内訳（日本） 38%：発電部門＝石炭火力、LNG火力、石油火力</p> <p>政府は2030年までに国債を発行してGXのイノベーションを起こす。</p> |

● 10年間で官民150兆円をGXへ投資（政府20兆円）

● イノベーションで脱炭素化を推進
→多くは化石燃料に関連した技術



★自治体で取り組む可能性

それぞれの場所で1.5℃目標と整合させる行動をとる
エネルギー効率を向上させ、省エネを進める
建物、システム設備、輸送機関

例：小学校の最上階に断熱材を入れて、エネルギー効率をあげた。

●行動

- ・再エネを増やす・支援する
- ・大企業の脱化石燃料への行動変容を促す
- ・インフラを組み替える
- ・断熱（省エネ）を進める
- ・電化を進める（クルマ・家庭・オフィスなど）
- ・緑・自然を守る・増やす
- ・産業を作る・スタートアップ

●アプローチ

- ・地域の特色を踏まえる（チェックリストを参照）
- ・地域の課題解決策と連動して取り組む

（例）農業と発電：ソーラーシェアリング 断熱住宅で子育て・高齢者の健康増進 公共交通と自転車でまちづくり 発電所や工場閉鎖と新たな産業・雇用創出

- ・費用対効果と中長期的なベネフィットを検証する
- ・学び・対話の場・参加の機会を作るー地方自治

現在もっている自治体と照らし合わせて、できる事を実行していく。
また、政府の支援策（補助金）を上手に活用していく。

研修 2

内容としては、、、

- 2024年の3つの選挙の特徴について「SNS選挙」元年としての2024年の選挙を

考える 2021/22/24 年選挙におけるメディア利用の変化と投票行動の関連について 偏りのあるメディアとしての SNS と政治意識の関連について

●兵庫県知事選挙における「陰謀論」と投票行動 2024 年 11 月の兵庫県知事選挙後に実施した世論調査を分析 兵庫県内における世論の分断（分極化）とオンラインメディアの関連について 錯綜する情報環境（≒陰謀論の蔓延）と投票行動の関連について

伝統的メディア：全国・民放ニュースの重視度がやや低下している、YouTube はやや増加している。

各メディアを重視した層の投票行動の変化

⇒ 「SNS 動員が増えた」のではなく「SNS 層の投票先が変わった」だけ？

近頃のSNSでは、ネガティブな政党に関して悪口をいう傾向がある
（アメリカ政治に近づいている）

SNSが広まれば、小政党にポジティブに働く可能性の方が高い。

敵対的メディア認知：中立的な報道をしていても、視聴者の政治的傾向に合致しなければ「偏っている」と考える認知バイアス

第三者効果：自分はメディアに踊らされないが、自分以外の人にはメディアに誘導されていると考える認知バイアス

⇒ メディア接触の仕方によって、メディアや県議会への信頼感も大きく異なる。

ソーシャルメディア利用がもたらすものとは、、、

ソーシャルメディアは、政治的な分断を（強力的に）生み出す装置と言える

⇒ とくに、党派的な情報は、選択的な接触を引き起こして既存の態度をより強化させる 兵庫県知事選では、真偽不明な情報が蔓延し、投票行動にも一定の提供を与えた ただし、真偽不明な情報を信じない半数の人たちが齋藤氏に投票したことも考えるべき。

選挙の在り方は、技術の進歩とともに変化している。

私自身も、目に触れる情報に偏りをなくし、幅広く知識を入れることでより正確な情報を市民の皆さまに届けていければと思います。

研修 3

・ 姫路駅周辺整備事業における取組

面積534km²と非常に広い

駅前再開発のパース図を見て市民アンケートをとった。

結果は7割が良くないというものであった。

その後の協議の結果、現在の結果がある。

パース図を市民に共有した結果、相互が議論することができ、納得するものを建設することに繋がっている。(飯塚駅前の再開発など転用可能だった?)

姫路駅を中心とした内々環状道路を設け、流動性を高めた。

民間開発地域(コアゾーン)を設け民間活用を実施。プロポ。

駅西側に文化ホールと県立病院の建設。

駅前のメイン道路は歩道幅をかなり広げている。

樹木に関しても、間引いて、その間にベンチなどを設けている。

うまくデザインされており、歩行者導線も整備されている。

この計画のよかった点は、中間報告を市民に対して行い、そのフィードバックをきちんと取り入れて、プロジェクトを進めていったことだと感じる。

・ウォーカブル推進計画

期待されることとしては、、、

／健康寿命の延伸、医療費の削減

／目的地の選択多様性の創出、エリア価値の上昇と税収増加

／外出意欲の向上

姫路市の課題としてお城がある北側は栄えているが東西の賑わいが課題であった。

社会実験も踏まえて、計画を進めていった。

道路を活用したい市民の方々向けに、ワンストップ窓口開設。

社会実験2

滞留時間を増やすために広場にベントをもうけた

結果→滞留数(579→1544)と増加

会話が最も多い結果になった。

社会実験終了後、プロジェクトは自治会が引き継いでいる。

地価は平成21年に比べて2倍に上昇。

ウォーカブル推進計画によって

外にでる、歩く、健康になる、医療費も安くなる、というムーブが生まれており

同時に再開発計画も並行してアジャストさせることにより、

より効率的な効果を生み出している。

姫路市は人口も多いが面積も広く、飯塚市の2倍である。

面積は障害ではないことがここでわかる。

ウォークアブルなまちづくりを本市でも遂行しているが

同時に都市計画を充実させることが、将来的に本市を発展させることになると感じており、ダイナミクスの視点で提言していければと思う。

令和7年7月25日(金)

福岡県飯塚市議会
藤堂彰 様

地方議員研究会
セミナー事務局
電話 050-1089-9835
(平日9～12時、13～17時)
FAX 050-6875-7448

受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。
お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。

お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。

キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。

受講料は、当日受付にて現金でお支払いをお願いいたします。

領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。

当日のご参加をお待ちいたしております。

記

| お申込み講座 | 金額 |
|---|---------|
| ① 2025年7月28日(月)10時～黒瀬講師【京都】施設の老朽化と公共施設等総合管理計画 | ¥15,000 |
| ② 2025年7月28日(月)13時半～黒瀬講師【京都】公共施設の論点整理と質問事例 | ¥15,000 |
| 領収書宛名： | 藤堂彰 様 |
| ご請求額： | ¥30,000 |

※2025年7月5日より電話番号、FAX、メールアドレスが変わりました。

※2025年5月1日より「株式会社H3O」へ法人名が変更になりました。

※新所在地 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28

| 令和 7 年度 | | 1 会計 | | (款) 1 | (項) 1 | (目) 1 | (節) 8 | (細節) 1 費用弁償 | | | | |
|---------|-----------|----------|---------------|--------|--------|-------|--------|-------------|-------|-------|--------|--------|
| 旅行者 | 氏名 藤堂彰 | 用務 | 地方議員研究会主催 研修会 | | | | 備考 | 藤堂彰 | | | | |
| | | 用務地 | 京都府京都市 京都JAビル | | | | | ※パックなし | | | | |
| 月 日 | 発着駅名 | 経由 | 鉄 道 賃 | | | | JET賃 | 日 当 | 宿 泊 料 | | | |
| | | | 旅程 | 運賃 | 超・特・急 | 料金計 | | | 宿泊地 | 定額 | | |
| 7 | 27 | 新飯塚 ~ 京都 | 小倉 | 640 | 10,240 | 4,960 | 15,200 | | 3,000 | 京都市 | 14,800 | |
| | 28 | 京都 ~ 新飯塚 | 小倉 | 640 | 10,240 | 4,960 | 15,200 | | 3,000 | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 経何番号 | | 計 | | 20,480 | 9,920 | 、 | 30,400 | 0 | 、 | 6,000 | 、 | 14,800 |
| | | | | | | | | | 合計金額 | | 51,200 | |

政務活動費 研修会等報告書

(会派 (議員) 名 藤堂彰)

| | |
|-------------|---|
| <p>日時</p> | <p>令和 7年 7月 28日</p> |
| <p>研修内容</p> | <p>(研修名：地方議員研究会)</p> <p>■研修1 施設の老朽化と公共施設等総合管理計画 (黒瀬雄大)</p> <p>■研修2 公共施設の論点整理と質問事例 (黒瀬雄大)</p> |
| <p>所管等</p> | <p>研修1</p> <p>「施設の老朽化と公共施設等総合管理計画」 講師：黒瀬雄大先生 元交野市議会議員 / 公共政策PhD</p> <p>バブル期に整備された施設が2020年代以降に立て続けに老朽化を辺慣するなか、自治体は保守や修繕にかかる費用と味わって、公共資産の適切な管理の要計をせまられている。</p> <p>近年の悪等事件： 2012年 簗子トンネル大突破事故 2021年 和沢市水道橋の墮下 2025年 八潮市下水道管の埋め落ち事故</p> <p>これらは、インフラの細かな破壊や安全性無視が与える命に関わる問題であることを示している</p> <p>優先順位の必要性 上下水道管は破壊のリスクに大きな差があり、優先度を返ることで効率的な投資が可能</p> <p>老朽化の進行の明示 建築後50年を超える施設の割合が今後加速 飯塚市の耐震管率や残庫年数の把握が必須 有形固定資産減価償印率 R3：95.1% R4：74.1% → 一気に減少 類団平均：約2割弱</p> |

修繕費の現実

下水道管の修繕：1km当たり1億円超

公有資産の分類

行政資産：売印不可

普通資産：売印可

事業用資産：学校等

インフラ資産：道路等

「箱物」と「インフラ資産」は大体同等要素

予防保全 vs 事後保全

国土交通省計算

→ 事後保全より予防保全の方が総算で20~30%折込みによる削減可
全国では280兆円→予防保全190兆円に折り込み可能

市役所の体制的問題

施設管理に対する体制が貧弱

各課で個別に管理しており、知識も分散

歴代事例を追って実務が行われている

民間のFM部署(ファシリティマネジメント)の必要性

効率的な老期化分析に役立つデータ

- | 財政状況資料集 | 総務省・自治体 | 財政状況、財務書類 | 年一回 |
- | 地方公会計財務書類 | 総務省・自治体 | BS、行政コスト等 | 年一回 |
- | 組合企業統計表 | 公営企業 | 水道、病院等の老期化データ | 年一回 |
- | 公共施設等総合管理計画 | 自治体 | 現状と更新戦略 | 5年ごと/階段的 |
- | 固定資産台帳 | 自治体 | 資産計価・耐用年数など | 階段的/年次 |

以上、実際の自治体経験と数値ロジックを持ち込んだ老期化対策講義は、実務の視点でも役立つ内容だった。

研修 2

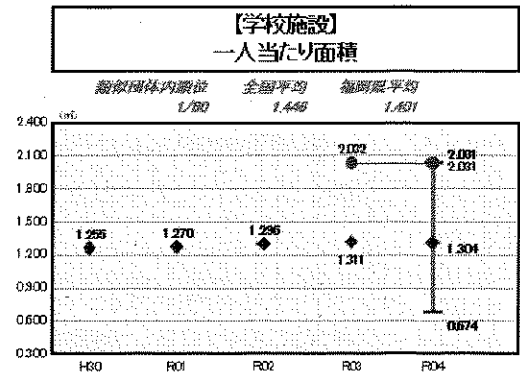
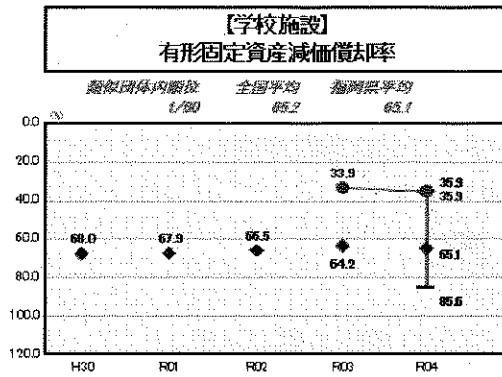
「公共施設の論点整理と質問事例」

公共施設割合

1. 学校等
2. 公営住宅
3. 公民館

- 4. 社会福祉施設
- 5. 庁舎・消防
- 6. 体育館
- 7. その他

公共施設は減らしていくべきだが、機能は残していくべきである。
判断の基準は「施設評価シート」



本丸は学校問題。

学校の統廃合は議会の判断である。なぜなら、条例案を可決するのは議会。

しかし、、、学校は地域アイデンティティの核。

◆カテゴリ別：定量指標の一覧

| カテゴリー | 指標名・式 | 判定式 (例) | 活用ポイント (例) |
|---------|----------------------|----------------------------|--|
| 児童・生徒規模 | 在籍児童生徒数(現状、5～10年後推計) | 小200人未満、中150人未満を小規模とする(目安) | 規模縮小の根拠に使うが、統廃合の絶対条件にはしない。 |
| 教室・施設利用 | 学年別学級数、普通教室数、保有率 | 学年別学級数 ÷ 普通教室数 | 空き教室の多寡を判断し、施設の有効活用を考える材料に。 |
| 教職効率 | 教職員数 | 教職員数 ÷ 生徒数 (または学級数) | 生徒70%前後を目安に効率性判断 人件費の圧縮効果が見える。併設や複式化で効率化可能。 |
| 防災・維持管理 | ICT端末整備率、築年数、㎡ | 小1/1台、中1/1台以上で整備目標 | 防災・ICT等の整備費増を判断、老朽化が激しい場合は優先補修。 |
| 通学効率 | 通学距離(平均通学距離・最大通学距離) | 小4km・中6km以内 | 統合後のスクールバス必要性・徒歩通学圏内かどうか判断。 |
| 統合効果 | 学力平均・不登校率など | 標準学力テスト平均正答率、不登校率など | 教育効果を比較、統合後にどう変化したかも後追い可能。 |

維持負 学校40年以上延床 延床面積うち40年以上 維持補修費・建替コストの基
担 率 の割合 礎情報、LCC比較に必要。

質問のフレームワーク

あるべき像を聞く、現状を確認する、矛盾を指摘する、提案
「あるべき姿」「現状」を答えさせ、行政を動かす質問を設計する。

課毎に、各発注をしている

現状、業務水準がばらばらである。

→資産管理課を入れるべきかどうか。(包括施設管理)

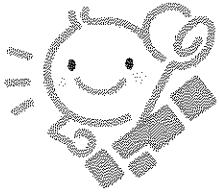
例：エレベーターなど一括で契約できる。

非常に有意義な研修であった。

本市においても、財政状況が悪くなく、歳入も厳しい中、

40万㎡ある公共施設を漸減的に減らしていかなければいけない状況にある。

客観的な数字から、最適な施設数を探りあて、対話をしながら進めていければと思う。



2025年7月吉日

全国若手議員の会 会員各位

九州若手議員の会 会長
井上 麻衣 (福岡県福岡市)

全国若手議員の会九州ブロック研修会@福岡のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より当会の活動に対しまして、格別のご高配とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、福岡市にて下記の通り研修会を企画いたしました。

一日目は、福岡市が先進的に進める「認知症フレンドリーセンター」を視察し、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの取組を、座学と体験を通して学びます。地域包括ケアや企業との連携、啓発活動など多面的な取り組みを肌で感じることができる内容です。二日目は福岡大学にて、山下慎一教授が指導するゼミ生の発表と議員とのグループワークを行い、若者の視点や対話を通して政策発信の在り方を考える機会とします。続いて、山下教授による講義で、行政と市民をつなぐ情報発信の在り方を学びます。

後半は、プロサッカー選手も輩出する乾真寛教授から、部活動の地域展開やeスポーツの可能性についてご講義いただきます。スポーツ・教育・地域が交わる次代の可能性に触れる貴重な機会です。

福岡の現場と知見を凝縮した二日間。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

敬具

記

開催日：2025年8月7日(木)～8月8日(金)

場所：福岡県福岡市中央区(初日) 同市城南区(二日目)

参加資格：現役会員及び会員対象者、OB

申込方法：Google フォーム→



申込締切：7/27(日) 正午

◎日程・研修内容

○1日目 8月7日(木)

【研修①】13:00～15:00

「認知症フレンドリー社会実現に向けた福岡市の取り組み」

講師：担当課長

場所：福岡市 認知症フレンドリーセンター
(福岡市中央区舞鶴2-5-1 あいれふ2階)

地下鉄空港線赤坂駅より徒歩3分の距離です。

※施設見学やVR体験を調整中

【総会】

16:00～（福岡市役所）

○2日目 8月8日(金)

【研修②】 10:00～13:20

「社会保障制度の情報発信について」

講師：山下慎一氏（福岡大学法学部教授）

場所：福岡大学(福岡市城南区七隈 8-19)

地下鉄七隈線福大前駅から徒歩1分の距離です。

※はじめに山下ゼミ生による報告発表および学生×議員によるグループワークを企画

【研修③】 13:20～14:00

「部活動の地域展開と e-sports を通じた取り組み」

講師：乾真寛氏（福岡大学スポーツ科学部教授）

場所：同上

【希望者のみ】 14:30～

「インクルーシブな子ども広場視察」

案内者：担当課長（住宅都市みどり局みどり推進部みどり整備課）

場所：西南杜の湖畔公園(福岡市城南区干隈)

福大から徒歩15分程の距離です。

宿泊について

※一日目は市内中心部での視察（天神エリア）、二日目は福岡大学（地下鉄七隈線「七隈駅」最寄）での研修となります。宿泊は各自でご手配をお願いいたします。

【ご参加される方へ重要なお願い】

Google フォームにて参加申し込みをされましたら速やかに以下オープンチャットに入室してください。

九州研修参加者連絡オープンチャット(LINE 機能)↓↓↓

「2025.8 若手議員の会九州ブロック研修@福岡 参加者オープンチャット

https://line.me/ti/g2/0bKriGXH9bz_EntTODs8Q8jsemIgcnEThcZjxg?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default



【問い合わせ先】

九州若手議員の会 事務局長：中村 恵輔（福津市議会）

MAIL：info@keisuke-n.com

TEL：080-2790-8329

最新情報、出欠確認については LINE にて共有いたしますので、併せて確認ください。

| 令和 7年度 | | 1 会計 | | (款) 1 | (項) 1 | (目) 1 | (節) 8 | (細節) 1 費用弁償 | | | |
|--------|-----------|----------|--------------------------|-------|-------|-------|-------|-------------|-------|-------|--|
| 旅行者 | 氏名 藤堂彰 | 用務 | 全国若手議員の会九州ブロック研修会@福岡 | | | | 備考 | 藤堂彰 | | | |
| | | 用務地 | 1日目:福岡市中央区 2日目:福岡市城南区 | | | | | | | | |
| 月 日 | 発着駅名 | 経由 | 鉄 道 賃 | | | | JET賃 | 日 当 | 宿 泊 料 | | |
| | | | 旅程 | 運賃 | 超・特・急 | 料金計 | | | 宿泊地 | 定額 | |
| 8 | 7 | 新飯塚 ~ 博多 | | 870 | | 870 | | | | | |
| | | 博多 ~ 赤坂 | | 260 | | 260 | | | | | |
| | | 赤坂 ~ 博多 | | 260 | | 260 | | | | | |
| | | 博多 ~ 新飯塚 | | 870 | | 870 | | | | | |
| | 8 | 新飯塚 ~ 博多 | | 870 | | 870 | | | | | |
| | | 博多 ~ 福大前 | | 300 | | 300 | | | | | |
| | | 福大前 ~ 博多 | | 300 | | 300 | | | | | |
| | | 博多 ~ 新飯塚 | | 870 | | 870 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 経伺番号 | | 計 | | 4,600 | 0 | 4,600 | 0 | 0 | | 0 | |
| | | | | | | | | | 合計金額 | 4,600 | |

政務活動費 研修会等報告書

(会派 (議員) 名 藤堂彰)

| | |
|------|--|
| 日時 | 令和 7年 8月 7～8日 |
| 研修内容 | <p>(研修名：全国若手議員の会九州ブロック研修会@福岡)</p> <p>■研修1 認知症フレンドリー社会実現に向けた福岡市の取組 (担当課長)</p> <p>■研修2 社会保障制度の情報発信について (福岡大学山下教授)</p> <p>■研修3 部活動の地域展開とe-sportsを通じた取り組み (福岡大学乾教授)</p> |
| 所管等 | <p>研修1</p> <p>「認知症フレンドリー社会実現に向けた福岡市の取組」 講師：担当課長 (矢野)</p> <p>1. 背景と現状 福岡市では、65歳以上の人口比率が22%に達しており、2024年には「認知症基本法」が施行され、認知症に対する社会全体での支援が本格化。福岡市も先進的な取組を進めている。</p> <p>2. 認知症フレンドリーシティの推進 福岡市では「認知症フレンドリーシティプロジェクト」を推進。これは、認知症のある方も安心して暮らせるまちづくりを目指すもので、市民・事業者・行政が一体となった産学官民連携による取組です。 代表的な施策は以下となります。</p> <ul style="list-style-type: none">● ユマニチュードの導入： 認知症の方とのコミュニケーションを重視するフランス発祥のケア技法。市内では救急隊員向けにも研修が行われています。● 認知症にやさしいデザインの整備： 英国大学の評価基準を参考に、施設や案内表示などを改善。 例えば、「コントラストの強調」や「文字とピクトグラムの併記」など。 こうした取り組みにより、フレンドリーセンターは2024年にグッドデザイン賞を受賞した。● 施設整備にナッジ理論を活用： 行動経済学に基づき、本人が自然と安全・快適な行動を取れるような空間設 |

計がなされています（例：視線誘導、色分け表示など）。

3. 見守り・支援制度

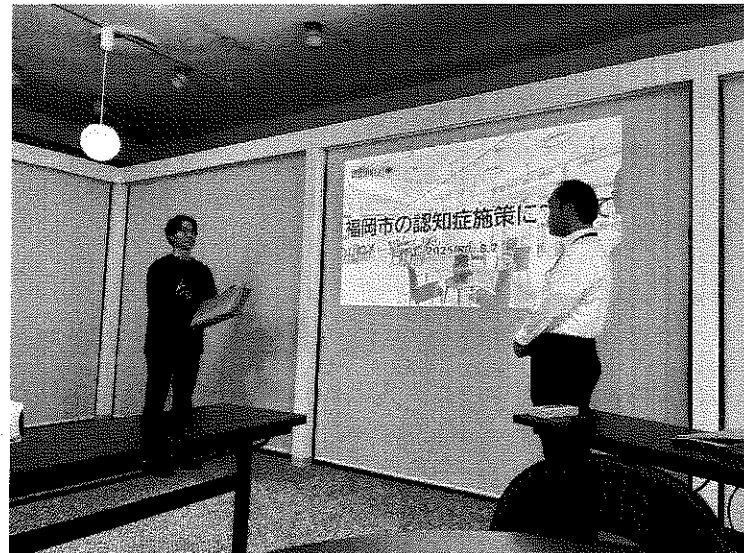
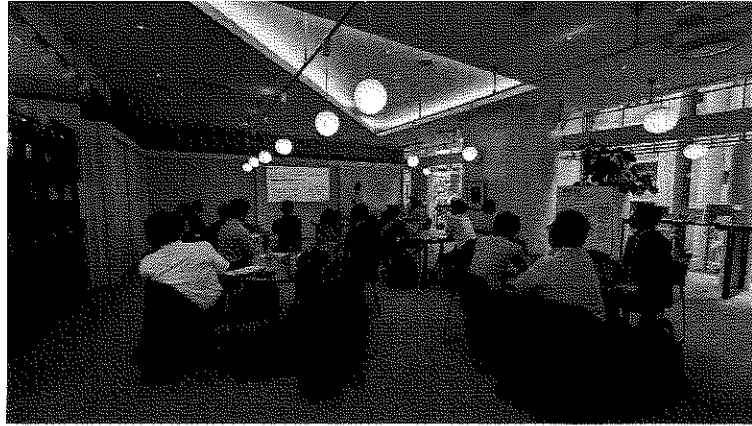
地域で認知症の方を支えるためのネットワークづくりにも力を入れています。

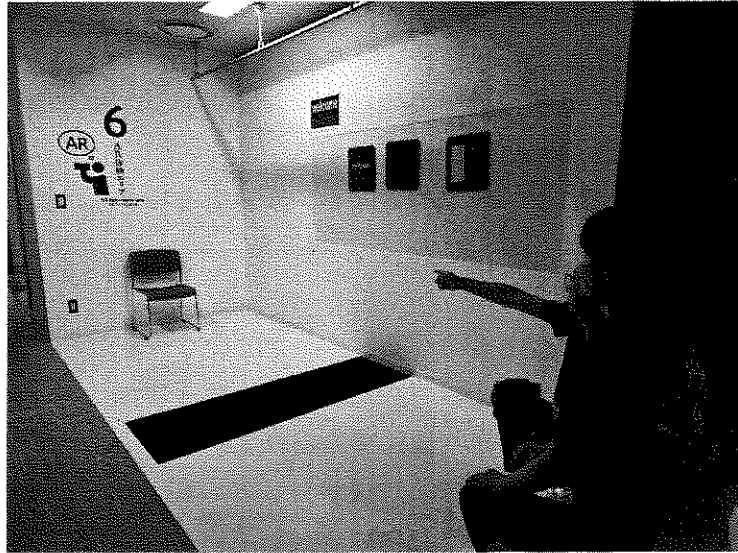
- 見守りネットワーク事業
 - ・登録制度：認知症の方の事前情報登録
 - ・捜してメール：行方不明時に市民にメール配信
 - ・捜索システム：ICTを活用した早期発見体制
- 家族やすらぎ支援制度
 - ・やすらぎ支援：介護負担を軽減するサービス
 - ・認知症介護予防：家族向けの講座や啓発活動

4. 成果と今後の展望

福岡市の取組には、年間1,000人の見込みを大きく上回る月1,000人以上の参加があり、関心の高さと需要の大きさがうかがえました。

今後も、「認知症になっても安心して暮らせるまち」を目指し、地域全体の理解促進と協働が重要であると感じ、飯塚市でも低コストで取り入れられる部分を思案し、政策提言して参ります。





(認知症VR体験)

研修 2

「社会保障制度の情報発信について」

講師：福岡大学山下教授

本講演では、社会保障制度における情報発信の重要性と課題について、福岡大学の山下教授よりご講演いただいた。特に「申請主義」である社会保障制度の特性と、情報発信のあり方が市民の生活満足度や法的リスクにも直結する点が強調された。

2. 主な内容

(1) 社会保障制度の特徴

- 社会保障は「申請主義」に基づいており、制度の利用には本人からの申請が必要である。
- そのため、情報が届かなければ制度そのものが活用されないという構造的な問題を抱えている。

(2) 情報発信の現状と課題

- 多くの自治体において情報提供の仕組みが不十分であり、市民の87%が「わかりにくい」と感じているという調査結果もある。
- 情報の不備が結果として「住みにくさ」につながる要因になっている。

(3) 横浜市の事例

- 横浜市のホームページ（HP）は社会保障関連の情報発信が充実しており、他自治体の参考事例として紹介された。

(4) 法的リスク

- 情報提供が不十分であった自治体に対し、損害賠償を求める訴訟も実際に起きている。
- 平成26年の大阪高裁判決では、自治体の情報提供義務に関する一定の責任が

認められた事例が紹介された。

(5) デジタルディバイド対策の必要性

- 情報発信の強化と同時に、インターネット等を利用できない高齢者・障害者等への対応も不可欠である。
- アナログ手段での補完や、地域の支援者との連携が今後一層求められる。

3. 講演を通じた示唆

- 社会保障制度は「ある」のではなく「使える」状態にしなければ意味がない。
- 制度の存在だけでなく、その内容・申請方法・対象者などをわかりやすく届ける努力が自治体に求められている。
- 情報提供の質は、住民サービスの質、ひいては自治体の信頼性にも関わる重要な要素である。

研修 3

部活動の地域展開とe-sportsを通じた取り組み

講師：福岡大学乾教授

施策の概要

- スポーツ基本法（第2期 5ヵ年計画）に基づき、「スポーツを通じたまちづくり（=スポまち）」を福岡大学が福岡市と連携して推進。
- 年齢や立場に関係なく、子どもから高齢者まで大学の施設を活用してスポーツを楽しめる環境を整備。

主なポイント

- 大学スポーツのポテンシャル活用
→ 現在、オリンピック選手の約7割が大学スポーツ出身。大学には人材・施設・ノウハウが集まっている。
- 医療費削減と財政的インセンティブ
→ 今後、健康増進によって医療費を抑えた自治体に対し、国から補助金（インセンティブ）が分配される制度設計が予定されている。
- 地域展開という新しい方向性
→ 従来の「部活動の地域移行」ではなく、大学を核とした「地域展開」という言葉で構想されている。
→ 3年以内に具体的展開を進める必要があるとされている。
- eスポーツとの連携
→ QTnet社がプロeスポーツチームを保有しており、大学と企業の連携による新たなスポーツ文化の創出も注目される。

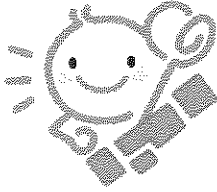
- 正直に言えば、「FUスポまち」は福岡市という都市圏だからこそ成立している面が大きい。
- 一方で、飯塚市における部活動の地域移行は、いまだ十分に進んでいるとは言えない。
- このまま準備・実行を怠れば、子どもたちが地域格差によって“置いていかれる”可能性がある。
- 部活動の地域移行は義務ではないが、「地域展開」の文脈で大学・地域・企業との連携を模索することが極めて重要。

今後に向けての示唆

1. 近隣大学（九工大・近畿大学・福祉大など）との協定検討
2. eスポーツを含めた多様なスポーツ機会の提供
3. 地域スポーツクラブ（既存の少年団など）との連携強化
4. 「スポーツで医療費削減」の視点で政策評価軸を構築



(福岡大学の学生とのディスカッション)



全国若手議員の会 各位

令和7年8月7日

全国若手議員の会
会長 高橋 保
(愛媛県西条市)

全国若手議員の会「第33回全国総会・研修会」のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より当会の活動に対しまして、格別のご高配とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

標記の件につきまして、下記の通り開催の運びとなりました。お忙しいところ大変恐縮ではございますが、万障お繰り合わせの上、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

敬具

【日程】 令和7年8月19日(火)・20日(水)

【会場】 第一日目：シビックセンター 4F さくらホール
(徳島市元町1-24)

第二日目：ホテルサンシャイン徳島 アネックス館3F 天鳳
(徳島市南出来島町2-9)

【参加費】 会員：無料／オブザーバー：3,000円
※オブザーバー参加は「未加入の全若対象者」が対象です。
※学生インターンの研修参加費は無料、意見交換会は実費請求です。

【当日スケジュール】

8月19日(火)

《会場》シビックセンター 4F さくらホール

| | |
|-------------|--|
| 12:30~13:10 | 受付 |
| 13:10~14:10 | 研修① 子籠敏人氏 「次のターゲットは議選監査委員！地方議会の機能強化について」 ローカルマニフェスト推進連盟共同代表／あきる野市監査委員／あきる野市議(5期) |
| 14:20~15:50 | 全国総会・全若OB会会長挨拶 |
| 16:00~17:00 | 研修② 白井智子氏 「誰も取り残さない教育をつくる ~今、自治体に取り組むこ |

| | |
|--|-----------------------------|
| | と～」 株式会社こども政策シンクタンク代表取締役 |
|--|-----------------------------|

8月20日(水) 《会場》ホテルサンシャイン徳島 アネックス館3F 天
鳳

| | |
|----------------|--|
| 9:00~9:30 0 | 受付 |
| 9:30~10:20 | 研修③ 大矢和樹 氏 「地方創生2.0 交付金事業について」 内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局参事官 補佐 |
| 10:30~11:20 | 研修④ 高井美穂 氏 「幸福度の高い持続可能なまちづくりの実現について」 徳島県三好市 市長 |

【お申し込み】

お申し込みは以下の Google フォームからお願いいたします。

URL : <https://forms.gle/3GCZGIMKM9ezDN8YA>

回答期限は 8月15日(金)

【連絡事項】

- 徳島駅からシビックセンターへの行き方

https://www.civic-center.jp/wp/wp-content/themes/civiccenter/pdf/civic_access-2021.pdf

●総会・研修前日の8月18日(月)は四国ブロック研修です。ご参加いただくと幸いです。

【お問い合わせ】

全国若手議員の会 事務局長 岡 雄也 (愛媛県松山市)

メール zenwaka.zenkoku@gmail.com 電話 090-6884-6072

以上

| 令和 7 年度 | | 1 会計 | | (款) 1 | (項) 1 | (目) 1 | (節) 8 | (細節) 1 費用弁償 | | | |
|---------|-----------|------|--------------------------|--------|--------|--------|-------|---|-------|--------|--|
| 旅行者 | 氏名 藤堂彰 | 用務 | 全国若手議員の会「第 33 回全国総会・研修会」 | | | | 備考 | 藤堂彰 1日目:シビックセンター 2日目:ホテルサンシャイン徳島 アネックス館 ※パックなし | | | |
| | | 用務地 | 徳島県徳島市 | | | | | | | | |
| 月 日 | 発着駅名 | 経由 | 鉄 道 賃 | | | | JET賃 | 日 当 | 宿 泊 料 | | |
| | | | 旅程 | 運賃 | 超・特・急 | 料金計 | | | 宿泊地 | 定額 | |
| 8 18 | 新飯塚 ~ 岡山 | 小倉 | 420.7 | 9,800 | 4,170 | 13,970 | | 3,000 | 徳島市 | 13,300 | |
| | 岡山 ~ 高松 | | 71.8 | | | | | | | | |
| | 高松 ~ 徳島 | | 74.5 | | 1,200 | 1,200 | | | | | |
| 19 | ~ | | | | | | | 3,000 | 徳島市 | 13,300 | |
| 20 | 徳島 ~ 高松 | | 74.5 | 9,800 | 1,200 | 11,000 | | | | | |
| | 高松 ~ 岡山 | | 71.8 | | | | | | | | |
| | 岡山 ~ 新飯塚 | 小倉 | 420.7 | | 4,170 | 4,170 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 経伺番号 | | 計 | | 19,600 | 10,740 | 30,340 | 0 | 6,000 | | 26,600 | |
| | | | | | | | | 合計金額 | | 62,940 | |

政務活動費 研修会等報告書

(会派 (議員) 名 藤堂彰)

| | |
|-------------|---|
| <p>日時</p> | <p>令和 7年 8月 19～20日</p> |
| <p>研修内容</p> | <p>(研修名：全国若手議員の会：第33回全国総会・研修会)</p> <p>■研修1 「次のターゲットは議選監査委員！地方議会の機能強化について」 子籠敏人（あきる野市議）</p> <p>■研修2 「誰も取り残さない教育をつくる ～今、自治体が取り組むこと～」 白井智子（株式会社こども政策シンクタンク代表取締役） シビックセンター4F さくらホール（徳島市元町1-24）</p> <p>■研修3 「地方創生2.0 交付金事業について」 大矢和樹（内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局参事官補佐）</p> <p>■研修4 「幸福度の高い持続可能なまちづくりの実現について」 高井美穂（徳島県三好市 市長） ホテルサンシャイン徳島 アネックス館3F 天鳳（徳島市南出来島町2-9）</p> |
| <p>所管等</p> | <p>研修1</p> <p>「次のターゲットは議選監査委員！地方議会の機能強化について」 子籠敏人（あきる野市議）</p> <p>自治体における監査の役割と実態 監査の役割は、単に誤りを指摘するだけでなく、組織が抱えるリスク要因を取り除き、「職員に罪を作らせない」という予防的な観点が重要であると強調された。具体例として「学校監査」が挙げられ、以下のような点が指摘された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険物の管理 使用期限切れの薬品の放置や、薬品管理簿の不備など、安全管理上の問題点。 ・私物化のチェック 学校開放団体による倉庫の無許可設置や、目的外使用など、行政財産の不適切な管理実態。 |

・公金の取り扱い

校長交際費の支出基準の曖昧さや、学校徴収金の不適切な徴収方法など、会計処理における課題。

議選監査委員の意義と専門性

・識見監査委員との違い

行政内部に詳しくない識見監査委員に対し、議選監査委員は行政実務や地域の事情に精通している点が強みである。

・求められる「政治的感覚」

議会での議論や住民の意見といった「政治的感覚」を監査の視点に盛り込むことで、より実態に即した実効性のある監査が可能となる。

・具体的な役割

識見監査委員への助言、監査計画への発議、議会との連携など、その役割は多岐にわたる。

若手議員への提言

・自ら議選監査委員になることを積極的に目指す。

・自身の自治体で議選監査が有効に機能しているかを確認し、必要に応じて改善を提案する。

・議会として、監査委員に適した人材を送り込む視点を持つ。

・地方自治法改正を受け、議選監査の存廃について議会で議論したかを確認し、議論を喚起する。

所感

本研修を通じ、監査は「チェック機能」という側面に加え、組織と職員を守り、より良い行政運営を促す「ガバナンスの要」であると再認識した。特に、議選監査委員が持つべき「政治的感覚」は、二代表制の一翼を担う議員として常に意識すべき視点であり、監査の分野でその専門性を発揮できることに大きな可能性を感じた。

今後、自らの議会活動においても、本研修で得た知見を活かし、監査機能の強化や議選監査委員のあり方について、積極的に議論・提案を行っていきたい。

研修 2

「誰も取り残さない教育をつくる ～今、自治体が取り組むこと～」

白井智子（株式会社こども政策シンクタンク代表取締役）

・研修目的

本研修は、社会起業家である白井智子氏の講演を通じ、現代の教育が抱える課題と、これからの社会に求められる教育のあり方について理解を深めることを目的とする。特に、

不登校児童生徒の増加という喫緊の課題に対し、子ども一人ひとりの特性に寄り添った「誰も取り残されない教育」を実現するための具体的な方策と、学校、家庭、地域社会が果たすべき役割についての講義であった。

白井氏は、自身の海外経験やフリースクール設立・運営の経験から、日本の画一的な教育システムに疑問を呈し、「学校に行けない子ども」ではなく「今の学校システムが合わない子ども」がいるという視点を提示した。

不登校の現状と背景

小中学校における不登校児童生徒数は約30万人にのぼり、発達障害の特性を持つ子どもも増加傾向にある。これは、多くの子どもにとって現在の公教育が合わなくなっている現状を示唆している。

2016年に施行された「教育機会確保法」は、学校を休む必要がある子どもの存在を認め、多様な教育の場との連携を定めているが、多くの教育現場でその理念が十分に浸透していない。

「誰も取り残されない教育」への転換

コロナ禍を経て、国の教育政策は「課題を抱えた子ども」への対応から、「どんな子どもも予測不能な時代を生き抜ける教育」へとシフトし、「個別最適化」が既定路線となった。重要なのは、画一的な評価基準から脱却し、子ども一人ひとりが持つ「偏り」「違い」「チャーム」を基盤として、主体的に学び続けられる環境を整えることである。

学びの個別最適化

AIを活用した基礎学力の習得、リアルな体験を通じた個性的な能力の伸長、多様な評価尺度の導入、異年齢との交流などを通じて、個々のペースや特性に合わせた学びを実現する。

生涯学習社会の実現

子どもだけでなく、大人も学び続けるコミュニティを構築し、その中で子どもを育む。

多様な選択肢の保障（教育機会確保法：2016年12月7日）

フリースクール、学童保育、地域の居場所、習い事など、学校以外の多様な選択肢を社会全体で用意し、子どもが複数の居場所を持てるように支援する。内閣府の調査では、居場所の数が多いほど、子どもの自己肯定感や将来への希望が高まることが示されている。

学校・自治体の役割

不登校対応のゴールを「学校復帰」に設定するのではなく、子どもとの信頼関係を再構築し、学びを取り戻すことに主眼を置くべきである。

学校外の専門機関や第三者（スクールロイヤー等）と積極的に連携し、学校だけで抱え込めない体制を構築することが不可欠である。

自治体は、法律に基づき、多様な教育環境を整備する責務がある。

・考察および今後の業務への活用

今回の講演で最も強く印象に残ったのは、「成長したくない子どもは、本当は一人もいない」という白井氏の言葉である。不登校や学習意欲の低下といった事象は、子どもの問題ではなく、子どもを取り巻く環境、特に画一的な教育システムとのミスマッチに起因するという視点は、我々が子どもと接する上での根本的な姿勢を問い直すものだと感じた。

1. 個の尊重と多角的な視点

子どもを「クラスの一員」としてだけでなく、「唯一無二の個人」として捉え、その子の特性や興味、学習ペースを尊重する。評価においても、ペーパーテストの点数だけでなく、その子が持つ個性や強みを見つけ、言葉にして伝えることを心がける。

2. 「複数の居場所」というセーフティネット

担当する子どもや保護者に対し、学校が唯一の場所ではないことを伝え、フリースクールや地域のコミュニティ、オンラインの学びの場など、多様な選択肢に関する情報を提供する。家庭や学校で困難を抱えた際に、逃げ込める「居場所」を複数持つておくことの重要性を共有する。

3. 外部との積極的な連携

課題を一人または組織内だけで抱え込まず、地域の教育支援センター、NPO、専門家など、外部の機関と積極的に連携し、チームとして子どもを支援する体制を構築する。それぞれの専門性を活かし、重層的なセーフティネットを築くことが、結果的に子どもと、支援者自身の双方を守ることにつながる。

「誰も取り残されない教育」の実現は、学校教育の枠組みを超えた社会全体の課題である。本研修で得た学びを起点とし、まずは自分自身の持ち場で、一人ひとりの子どもが安心して自分らしさを発揮できる環境づくりに貢献していきたい。

問題として小児性愛の問題

親が障壁となることは避けられない。

(オンラインフリースクールなどの活用も)

自治体に取り組むべきこと

義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律(平成28年法律第105号) 関連条文抜粋

法第3条第1号
全ての児童生徒が豊かな学校生活を送り、安定的な教育を受けられるよう、学校における教育の環境が確保されるようとする。

法第3条第4号
義務教育の段階における普通教育に相当する教育と十分に異なる児童生徒の個性や能力に適合した、その児童生徒が学ぶ機会が確保されるようとする。その際、その教育を通じて、社会において別荘的に学ぶ児童生徒が、豊かな人生を送ることができるよう、その教育の質的向上を図らなければならない。

法第3条第5号
法第2条第1号、第2号の児童生徒の確保に努めること。

法第10条
自治体は、その児童生徒が、その児童生徒の個性や能力に適合した教育を受け、その児童生徒が学ぶ機会が確保されるようとする。

法第11条
自治体は、その児童生徒が、その児童生徒の個性や能力に適合した教育を受け、その児童生徒が学ぶ機会が確保されるようとする。

多様な子ども達のために
多様な教育環境を整備

↓
好事例は法律に

研修 3

「地方創生2.0 交付金事業について」

大矢和樹（内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局参事官補佐）

交付金の概要と特徴

新しい地方経済・生活環境創生交付金は、地域の特性に応じた独自の取り組みを計画から実施まで一貫して支援するものであり、主に以下の4つの類型から構成される。

第2世代交付金

ソフト・ハード一体型の事業や分野横断的な取り組みを支援し、地域の多様な主体（産官学金労言など）の参画を促進する。

デジタル実装型

デジタル技術を活用した地域の課題解決や魅力向上に資する取り組みを支援する。（例：書かない窓口、地域アプリ）

地域防災緊急整備型

避難所の生活環境を抜本的に改善するなど、地方公共団体の先進的な防災の取り組みを支援する。

地域産業構造転換インフラ整備推進型

半導体等の戦略分野における国家プロジェクトの産業拠点整備に必要な関連インフラの整備を支援する。

令和7年度の当初予算では2,000億円が計上されており、従来の地方創生関連交付金から大幅に増額されている。これは、国として地方創生への取り組みを一層強化する姿勢の表れである。

地方創生交付金1.0から2.0への進化

本交付金は「第2世代交付金」と位置づけられており、従来の制度（1.0）から以下の点で大きな見直しが行われている。

・区分の見直し

従来の「ソフト」「拠点整備」「インフラ整備」という区分をより柔軟にし、複数要素を組み合わせた効果の高い事業（例：ソフト+拠点整備+インフラ）を一体的に支援できるようになった。

・件数・金額・期間の見直し

市区町村における事業上限件数が10件に緩和され、1件あたりの金額も引き上げられた。また、補正予算事業においても複数年度事業が可能となり、より長期的で大規模な計画が立てやすくなった。

・PDCAサイクルの強化

事業の検討・実施・検証の各段階において、地域の多様な主体の参画が義務付けられた。また、効果検証結果と改善方策の公表も義務化され、事業の透明性と実効性の向上が図

られる。

「地域の多様な主体の参画」の重視

第2世代交付金の最も重要な特徴の一つが、「地域の多様な主体の参画」を必須要件としている点である。

・参画主体

産（産業界）、官（行政）、学（大学等）、金（金融機関）、労（労働団体）、言（報道機関）といった多様な主体が連携し、事業を推進することが求められる。

・役割

各主体は、事業計画の実質的な検討に参加するだけでなく、事業開始後の進捗状況の確認や効果測定（フォローアップ）にも関与し、PDCAサイクルを回していく役割を担う。

・義務化

効果検証の結果と、それに基づく改善方策の公表が義務付けられており、継続的な事業改善が制度的に担保されている。

採択事例の紹介

資料では、本交付金を活用した具体的な事業事例が紹介されている。

・岡山県奈義町【移住促進事業】：

- 目的：子育て世帯や若者をターゲットにした戦略的な移住施策の推進。
- 概要：移住支援拠点の整備、デマンド交通や地域医療体制のDX化、空き家活用促進などを一体的に実施。
- KPI：転入者数（+30人）、合計特殊出生率（+0.42）など。

・福井県あわら市【観光まちづくり推進事業】：

- 目的：「あわら温泉」の魅力を高め、観光消費額の増加を図る。
- 概要：官民連携で温泉街の回遊性向上やランドスケープ作成に関する社会実験を実施し、持続可能な観光エリアを目指す。
- KPI：観光入込客数（+22.4万人）、外国人宿泊客数（+26,000人）など。

・福岡県香春町【旧小学校を活用した賑わい再生事業】：

- 目的：廃校跡地を活用し、旧商店街の賑わいを再生し、若い世代の移住・定住を促進する。
- 概要：チャレンジショップやイベント広場を整備し、商工会や地域おこし協力隊と連携して創業支援や情報発信を強化する。
- KPI：地域の転入者数（+70人）、新規開業数（+16件）。

新しい地方経済・生活環境創生交付金は、単なる財政支援にとどまらず、地域の自主性を最大限に尊重し、多様な関係者の連携による持続可能な地域づくりを促すための制度設計となっている。特に、PDCAサイクルの徹底と効果検証の義務化は、事業の実効性を高める上で重要な要素となる。本交付金の活用により、全国各地で地域の創意工夫を活かした先進的な地方創生の取り組みが加速することが期待できる。

研修 4

「幸福度の高い持続可能なまちづくりの実現について」

高井美穂（徳島県三好市 市長）

衆議院議員（3期当選）文部科学政務官、文部科学副大臣を歴任

徳島県議会議員（2期当選）

2021年7月24日、三好市長に初当選。

選挙において3回の落選を経験している。

三好市の現状と課題

高井市長が舵を取る三好市は、以下の特徴と課題を抱えている。

- ・人口規模：約22,000人（2.3万人弱）
- ・市域面積：721km²（2村4町が合併して誕生）
- ・人口密度：33人/km²
- ・インフラ：市が管理する市道の総延長は2,000km

広大な面積に人口が点在する地理的条件は、行政サービスの維持・提供において大きな課題となっている。特に、膨大なインフラ管理のコストは、市の財政に重くのしかかる。

市政運営の基本理念

高井市長は、当選を重ねることで政治家としての見える景色が変わってきたと述べ、市政運営において以下の3つの信念を判断基準としている。

要望を頂いた時の3つの信念

1. 真実かどうか：その情報は事実在即しているか。
2. 皆にとって公平であるか：一部の利益に偏らず、市民全体にとって公正な判断か。
3. 皆にとって利益になるのか：市民全体の幸福や利益に繋がるものか。

持続可能なまちづくりへの展望

高井市長は、自治体の基本は「公共サービスの提供」であると断言。現代において、自治体は市民の「命の要」としての役割を強めていると指摘する。

その一方で、人口減少と厳しい財政状況の中、**「公共サービスを今後も維持できるのか」**という根源的な問いを投げかける。この課題に対し、以下の姿勢で臨む方針を示した。

- ・身の丈にあった運営：市の財政規模や実情に見合った、持続可能な行政運営を目指す。
- ・議会との対話：独断で進めるのではなく、市民の代表である議会と十分な対話を重ね、合意形成を図りながら政策を推進する。

最後に、高井市長は「何のために議員になったのか」と自問し、政治家としての原点に立ち返り、市民のための市政を追求する強い意志を示されました。

第30回

住民主体の地方自治を進めるために

清溪セミナー

2025年10月22日(水)～10月23日(木)
日本青年館ホテル 8Fカンファレンスルーム

※感染症を含めた社会情勢および主催者の都合によりプログラムが変更となる場合がございます。予めご了承ください。

1日目 10月22日(水)

開講式・オリエンテーション 13:00～

講義Ⅰ 13:30～14:50

現場から見た介護保険制度

講師：小島 美里 氏 [NPO 法人暮らしネット・えん代表理事]



ケア社会をつくる会世話人、元新座市議会議員(無党派)。地域に根ざした介護保険・障がい福祉事業、認知症カフェ等を運営。著書に「あなたはどこで死にたいですか?」(岩波書店)、「おひとり様の逆襲」(上野千鶴子共著・ビジネス社)等。

講義Ⅱ 15:05～16:25

社会の変化とこれからの学校教育 ～主体性と当事者性～

講師：工藤 勇一 氏 [教育アドバイザー]



千代田区立麹町中学校校長や横浜創英中学・高等学校校長を務める。現在、内閣府規制改革推進会議専門委員や兵庫県芦屋市教育委員会エージェンシーアドバイザーなど数々の要職を歴任する。『学校の「当たり前」をやめた。一生徒も教師も変わる!』(時事通信社)など著書多数。

講義Ⅲ 16:40～18:00

子育て支援策の一步先へ ～まち全体での子育て～

講師：奥 正親 氏 [岡山県奈義町長]



1985年に奈義町役場に入庁し、総務課長を経て2019年に町長に初当選。現在2期目を務めている。全ての施策を「人口維持」に傾注し、子育て支援と高齢者福祉の両輪でまちづくりを進めている。奈義町出身。

2日目 10月23日(木)

講義Ⅳ 9:00～10:20

人口減少社会を生き抜くために

講師：増田 寛也 氏 [株式会社野村総合研究所 顧問]



東京大学法学部卒。旧建設省を経て岩手県知事(3期)、総務相などを歴任。2020年1月より2025年6月まで日本郵政株式会社社長を務める。令和国民会議(令和臨調)共同代表、人口戦略会議副議長。

講義Ⅴ 10:35～11:55

自治体の防災マネジメントと 議会・議員の役割

講師：鍵屋 一 氏 [跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 まちづくり学科 教授]



板橋区福祉部長、危機管理担当部長、議会事務局局長を経て現職。法政大学大学院兼任講師、名古屋大学大学院非常勤講師。内閣府「被災者支援のあり方検討会」座長など。(一社)福祉防災コミュニティ協会代表理事。(一社)マンション防災協会理事長。著書に『図解よくわかる自治体の地域防災・危機管理のしくみ』『ひな型でつくる福祉防災計画』(編著)など

昼食・情報交換会 12:00～

講義Ⅵ 第30回記念対話 13:30～15:30

被爆戦後80年核兵器のない世界へ 日本が果たす役割とは

講師：松井 一實 氏 [広島県広島市長・全国市長会会長]



広島市東区牛田出身。京都大学法学部卒。1976年労働省入省。厚生労働省大臣官房総括審議官(国際担当)ILO理事(政府代表)、中央労働委員会事務局長などを歴任。2011年に広島市長に就任。趣味はコーラス、書道、油絵。

講師：箕牧 智之 氏 [元北広島町議会議員 日本原水爆被害者団体協議会代表委員]



1942年東京都板橋区生まれ。1945年に父を訪ねて広島市で被爆。鋳物工場などで働き、57歳から14年間北広島町町議を務めた。2005年から被爆者としての活動を活発化。2021年に広島県原水爆被害者団体協議会理事長に就任。2022年に日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)代表委員に就任。代表委員3人のうちの1人。2024年に日本被団協としてノーベル平和賞を受賞。

閉講式 15:30～15:45

議員同士の全国ネットワーク「清溪セミナー」に参加しませんか！

平成9年、青年団出身の地方議員たちの熱い思いによってスタートした清溪セミナーも、今年で30回目の節目を迎えることとなりました。これまで清溪セミナーでは、住民主体の地方自治を実現するため、議会や行政の改革をはじめ日本社会の抱える諸課題について学んできました。今回は学校教育や人口減少社会、防災などこれまで取り上げてきたテーマを今日的視点で改めて学ぶ企画として開催いたします。

このセミナーは、今まで超党派の地方議員を主体とした実行委員会形式で運営しております。そのため、充実した講師陣による講義が聴けることはもちろんですが、本音で議論できる仲間を全国に持つことができるのも大きな魅力の一つであると考えています。今まさにそれぞれの地元で奮闘を続けておられる皆様のご参加を心よりお待ちしております。



中村 和彦

実行委員長
(栃木県 真岡市長)

第30回 清溪セミナー 主催 / 清溪セミナー実行委員会 共催 / 一般財団法人日本青年館 協力 / 早稲田大学鵬志会

日時：2025年10月22日(水)～10月23日(木)

会場：日本青年館ホテル 8F カンファレンスルーム

参加対象：地方議会議員等100名限定(他オンライン参加有)

参加申込：下記の申込書に記入し、FAXもしくはメールで下記までお送りください。受領後一週間ほどで請求書をメールにてお送りいたします。また、右記二次元コードの申込フォームからお申込みいただけます。



<https://x.gd/PyYmH>

申込締切：2025年10月7日(火) 17:00 必着

参加経費：参加費 29,000円(税込) 町村議会議員・一般 25,000円(税込)

※いずれも録画配信の視聴2ヵ月付

23日 昼食・情報交換会(コーヒー・デザート付) 2,200円(税込) ※希望者のみ

宿泊：日本青年館ホテルでの宿泊はネット予約またはホテルパックで利用できます。ご予約は右記QRコードより各自でお願いいたします。



<https://nippon-seinenkan.or.jp/>



日本青年館ホテル 〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町 4-1

清溪セミナー実行委員会事務局
一般財団法人日本青年館公益事業部内
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-1 5F
石田 / 澁谷
TEL 03-6452-9012 (平日9時～17時)
FAX 03-6452-9026
MAIL seikei-seminar@nippon-seinenkan.or.jp

オンライン受講について

今年もオンライン受講を実施します。当日会場にお越し頂けない方は是非ご活用ください。なお、お一人ずつのお申し込みをお願いいたします。下記申込書の所定欄に視聴を希望する日にちに〇印をつけてください。申込後請求書をメールでお送りします。

ライブ・オンデマンド視聴参加

ZOOMを使用したリアルタイム配信となります。当日はZOOMのチャット機能を使い講師への質問も受け付けます。注意事項とともにZOOMのアドレスを開催日1週間前にメール送信いたします。セミナー終了後に録画配信によるオンデマンド視聴を御覧になれます。期間は11月1日より12月末日となります。

○参加費：23,000円

○1日のみの受講は18,000円

申込記入欄

FAX: 03-6452-9026

| | | | |
|-----------------------|-------------------------------|--------------------------|-----------------------------------|
| 所属 (議会名・会派名等) | (議員以外の方は勤務先をご記入ください) | | |
| ふりがな 名前 | ----- | | 携帯電話 |
| | ----- | | FAX |
| 住所 | 〒 | MAIL | |
| | | 日常的に受信できるPCアドレス ----- | |
| 参加形態 (該当項目に丸印) | A. 日本青年館に来場参加 ※録画配信の視聴可 | | B. ライブ・オンデマンド視聴参加 (22日・23日・両日) |
| 領収書の要・不要 | 不要・必要 ▶ 宛名：議会名・会派名・名前・その他 () | | |
| 23日の昼食情報交換会(税込2,200円) | | 申し込みます ・ 申し込みません | |

※キャンセルポリシーは、添付の文書もしくはホームページをご確認ください。

| 令和 7年度 | | 1 会計 | | (款) 1 | (項) 1 | (目) 1 | (節) 8 | (細節) 1 費用弁償 | | | | |
|--------|------------|-------------|-----|--------------|-------|-------|-------|-------------|--|-------|--------|--|
| 旅行者 | 氏名 藤堂 彰 | | 用務 | 清溪セミナー | | | | 備考 | ※パック商品使用 羽田空港⇄福岡空港 食事なし(48,400円) ※食事なし(食事代相当額3,000円×1日=3,000円) | | | |
| | | | 用務地 | 東京都 日本青年館ホテル | | | | | | | | |
| 月 日 | 発着駅名 | | 経由 | 鉄 道 賃 | | | | JET賃 | 日 当 | 宿 泊 料 | | |
| | | | | 旅程 | 運賃 | 超・特・急 | 料金計 | | | 宿泊地 | 定額 | |
| 10 | 22 | 新飯塚 ~ 博多 | | | 870 | | 870 | | 3,000 | 東京 | 14,800 | |
| | | 博多 ~ 福岡空港 | | | | | | 地下鉄 | 260 | | | |
| | | 福岡空港 ~ 羽田空港 | | | | | | | 18,300 | | | |
| | | 羽田空港 ~ 浜松町 | | | | | | 私鉄 | 520 | | | |
| | | 浜松町 ~ 新橋 | | | 150 | | 150 | | | | | |
| | | 新橋 ~ 外苑前 | | | | | | 地下鉄 | 180 | | | |
| 10 | 23 | 外苑前 ~ 新橋 | | | | | | 地下鉄 | 180 | 3,000 | | |
| | | 新橋 ~ 浜松町 | | | 150 | | 150 | | | | | |
| | | 浜松町 ~ 羽田空港 | | | | | | 私鉄 | 520 | | | |
| | | 羽田空港 ~ 福岡空港 | | | | | | | 18,300 | | | |
| | | 福岡空港 ~ 博多 | | | | | | 地下鉄 | 260 | | | |
| | | 博多 ~ 新飯塚 | | | 870 | | 870 | | | | | |
| 経伺番号 | | | 計 | | 2,040 | 0 | 2,040 | | 38,520 | 6,000 | 14,800 | |
| | | | | | | | | | 合計金額 | | 61,360 | |

商品名 航空券+宿泊「ANAトラベラーズダイナミックパッケージ」

出発日 2025年10月22日(水)

| 旅程 | お申し込み内容 | ご利用数 | 予約状況 | 標 |
|----------------------|---|------|------|---------|
| 1日目 10月22日 (水) | ANA 244 福岡 09:00 - 羽田 10:45 普通席 | 1席 | 予約確定 | ● |
| | 日本青年館ホテル 外苑前駅より徒歩5分◆日本青年館ホテルシンプルステイ【素泊り】 禁煙 洋室 シングル スーペリアシングル スーペリアフロア 1名 1室利用 食事なし MAP 評価: 4.4 178件のクチコミ | 1室 | 予約確定 | ● |
| 2日目 10月23日 (木) | ANA 261 羽田 15:45 - 福岡 17:40 普通席 | 1席 | 予約確定 | ● |
| 1名様ごとのご旅行代金 | | | | 48,400円 |

お客様情報

| | 姓 | 名 | 年齢 | 性別 | ANAマイレージクラブ お客様番号 | サポート情報 |
|-----|------|------------|-----|----|----------------------|--------|
| 代表者 | 全角カナ | トウドウ アキラ | | | | |
| | 漢字 | 藤堂 彰 | 33歳 | 男性 | | 登録なし |
| | 半角英字 | TODO AKIRA | | | | |

旅客情報 (代表者様)

郵便番号 都道府県名・市区部名

〒 820-0062 福岡県飯塚市目尾

町名・番地

マンション名またはご勤務先・部署など

504-45

電話番号1

携帯 08064348298

電話番号2 *任意

メールアドレス

代表者メールアドレス
トウドウ アキラ様



政務活動費 研修会等報告書

(会派 (議員) 名 藤堂彰)

| | |
|------|--|
| 日時 | 令和 7年 10月 22～23日 |
| 研修内容 | <p>(研修名：第30回清溪セミナー 日本青年館ホテル8Fカンファレンスルーム)</p> <p>■研修1 現場から見た介護保険制度 講師:小島美里氏 [NPO法人暮らしネット・えん代表理事]</p> <p>■研修2 社会の変化とこれからの学校教育 ～主体性と当事者性～ 講師:工藤勇一氏[教育アドバイザー]</p> <p>■研修3 「地方創生2.0 交付金事業について」 講師:奥正親氏[岡山県奈義町長]</p> <p>■研修4 人口減少社会を生き抜くために 講師:増田寛也氏 [株式会社野村総合研究所 顧問]</p> <p>■研修5 自治体の防災マネジメントと 議会・議員の役割 講師:鍵屋一氏 跡見学園女子大学 ・観光コミュニティ学部 まちづくり学科 教授</p> <p>■研修6 被爆戦後80年核兵器のない世界へ 日本が果たす役割とは 講師:松井一實氏 [広島県広島市長・全国市長会会長]</p> |
| 所管等 | <h3 style="margin: 0;">研修 1</h3> <p>1. 概要 介護保険制度施行から25年を迎え、在宅介護の崩壊と人材不足が深刻化している現状について、現場経験豊富な小島氏が報告した。特に訪問介護の現場が限界に近い状況にあることが強調された。</p> <p>2. 要点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 在宅介護の危機 <ul style="list-style-type: none"> 訪問ヘルパーの平均年齢54歳、70歳以上も多く、求人倍率14倍。 高齢のヘルパーが現場を支えている実態。 |

- 報酬改定の問題
2024年改定で訪問介護の基本報酬が約2%引き下げ。
「高収益だから減額」とされたが、実際は4割が赤字。
小規模・地域型事業所ほど経営が苦しい
- 産業化の弊害
大手・サ高住中心の介護に偏り、地域の小規模事業所が次々と閉鎖。
地域包括ケアが形骸化している。
- 自治体議員への提案
ケアマネ・訪問介護の実態把握、特別会計審議での質疑、意見書提出など、議員が制度監視の役割を果たすべきと指摘された

3. 所感

介護保険制度はもはや制度疲労を起こしており、現場の声を政策に反映する必要がある。「支える人への支援」が抜け落ちたままでは、在宅介護の持続は難しい。自治体議員として、地域ケアの担い手の実情を把握し、制度改正の影響を検証していきたい。

研修 2

1. 概要

工藤氏は、現代日本の教育が「主体性」と「当事者性」を育てられていないことを指摘し、教育の目的を“自律した生徒の育成”に再定義すべきと強調した。日本の社会課題（不登校、いじめ、教員の過重労働など）は、教育のあり方と深く結びついていると述べた

2. 講義の要点

- 教育の現状と課題
日本は「過度な競争」「画一的教育」「多様性への対応不足」で国連からも勧告を受けている。
若者の自己肯定感・幸福度は他国と比べ極めて低い。
- 主体性・当事者性の欠如
手をかけすぎる教育は自律を奪い、失敗を人のせいにする傾向を生む。
「自己決定」を重視し、子ども自身が考え・判断・行動できる環境づくりが必要
- これからの教育の方向性
「教える」から「学ぶ」へ転換し、個々に合った学び方を尊重する。
発達特性に応じた柔軟な学びを支えることで、学びが“将来の働く力”につながる。

- 求められる3つの力（コンピテンシー）
 - ① 主体性（自ら考え判断し行動）
 - ② 当事者性（多様性を尊重し対話で解決）
 - ③ 創造性（情報や技術を活用して新しい価値を生む）
- 心理的安全性の重要性

失敗が許される環境や自己決定の尊重が、学びの自立を促す。
教師や大人は「命令」ではなく「問いかけ」で支援する。

3. 所感

学校教育の課題は、社会全体の課題そのものと感じた。

「仲良くさせる」教育ではなく、「対立を対話で解決する」教育こそが成熟した社会をつくる。

教育現場だけでなく、市民・議会・行政のあらゆる場面で、主体性と当事者性を尊重する文化を広げていく必要がある。

不登校は日本、韓国、中国のアジア圏しかない
法律があるから
学校教育法1条：学校を定めた。←ここが問題
(国は当然支援する)

欧米型

どこで学ぶかは親が決める。(教会など、自宅も)

研修 3

1. 概要

岡山県奈義町は人口約5,400人の小規模自治体ながら、全国屈指の出生率（合計特殊出生率2.95）を実現。

奥氏は、奈義町の少子化対策を「子育て支援」「雇用創出」「住環境整備」の三位一体で展開していることを紹介した

2. 講義の要点

- (1) 子育て・教育支援の充実

保育園・幼稚園を統合した「なぎっ子こども園」整備（定員250名）、給食費・教材費無償化。

母乳相談・産後ヘルパー・愛育委員訪問など、妊娠から育児まで切れ目のない支援を実施。

子育て拠点施設「なぎチャイルドホーム」で相談・一時保育・親子交流を展開
- (2) しごと・地域活性化の取組

地域の小さな仕事をマッチングする「しごとコンビニ事業」を実施。

高齢者や主婦が短時間就労できる仕組みで、世代間交流と地域支援の循環を生んでいる。

企業誘致や若者住宅整備で定住と雇用の両立を図る。

- (3) こどもまんなかのまちづくり

こども議会を復活させ、提案内容を条例や予算に反映（例：ごみポイ捨て禁止条例、校庭バスケットゴール設置など）。

子どもの声を政策に生かす取組が評価されている

- (4) 住環境の整備

町営住宅・分譲地整備・空家リノベ事業などを通じて、「住む場所」問題を自治体主導で解消。

新築・リフォーム・結婚新生活補助など、若年層の定住支援を幅広く展開

3. 所感

奈義町の成功は、「経済支援だけでなく、住民参加と地域連携を基盤にしている点」にあると感じた。

“少子化対策＝高齢者福祉”という発想の転換も印象的で、世代間をつなぐまちづくりの好例である。

飯塚市でも、子育て・仕事・住まいの循環を意識した包括的施策が必要と考える。

研修 4

1. 概要

増田氏は、人口減少問題を「自然減＋社会減」という構造的課題として捉え、単なる人口対策ではなく「地方創生2.0」への転換が必要と強調した。

特に、若者・女性に選ばれる地域づくりと、地方経済の自立化を最優先課題に挙げた

2. 講義の要点

(1) 人口減少対策（少子化対策）

- 経済的支援、保育サービス、住環境整備などの基盤支援の充実。
- 性別役割分担の意識改革（アンコンシャス・バイアスの是正）。
- 働き方改革とキャリア支援により、出産・子育てと仕事の両立を可能にする社会構築

(2) 地域経済の再構築

- 地域資源を活かした高付加価値化（観光・特産品・スタートアップ）。
- ICT・AI・ロボットなど新技術を取り入れた産業モデル転換。
- 産官学金の「新結合」による地方イノベーションの推進。
- 地域金融・大学・企業が一体となった成長基盤の整備

(3) 東京一極集中の是正

- テレワークや二地域居住の推進。

- 政府機関や企業本社の地方移転。
- 教育・医療・交通など生活インフラの地方分散を進める。
- 「関係人口」「交流人口」を増やし、都市と地方の好循環をつくる

(4) 地方創生2.0の柱

- 「稼ぐ地方」への転換（地方イノベーション創生構想）。
- GX・DXによる新産業育成とスマートインフラ整備。
- 広域リージョン連携で複数自治体の共同发展を図る

3. 所感

- 地方創生を“人口維持策”ではなく、“地域の再設計”として捉える視点が印象的だった。
- 飯塚市においても、AI・DXを活かした産業連携と女性・若者の定着支援が鍵になる。
- 「広域で稼ぐ」構想は筑豊地域にも通じ、近隣自治体とのリージョン連携の可能性を探るべきと感じた。

研修 5

1. 概要

鍵屋氏は、能登半島地震の教訓を踏まえ、「災害時にも尊厳が守られる社会」を目指す防災のあり方を提唱。

福祉の視点を取り入れた「費用対効果の高い事前防災」として、住宅耐震化・個別避難計画・在宅避難支援を柱に示した

2. 講義の要点

(1) 災害時の尊厳を守る社会の構築

- 「防災＝命を守る」から「尊厳を守る防災」へ。
- 高齢化・独居化の進行で、自助・共助・公助の従来モデルは限界。
- 福祉の仕組みを防災に応用し、支え合う地域共生社会を構築する必要性

(2) 費用対効果の高い6つの提言

1. 住宅耐震化の全額公費化

低所得層の耐震化を公費で支援し、死者と経済損失を大幅に削減。

2. 「ひなんさんぽ」と個別避難計画の推進

高齢者・障がい者が地域で避難訓練を行い、支援者との関係を築く。

3. 在宅避難のための簡易トイレ全戸配布

トイレ不足は命に関わる。感染症・誤嚥性肺炎の防止にもつながる。

4. すべての福祉施設を福祉避難所に指定

高齢者・障がい者の避難生活を支援し、関連死を防ぐ。

5. 災害福祉支援体制と人材育成

DWAT（災害派遣福祉チーム）整備、社協への支援センター設置。

6. 防災法制に「尊厳」を明記

防災基本法・災害救助法に「尊厳」を加え、法的な理念を転換

(3) 議会・議員の役割

- ・ 災害時は「行政への負担をかけない」ことを原則とする。
- ・ 議員は、地域の支援・情報収集・国や県への要望を担う。
- ・ 平時から防災BCP（業務継続計画）を整備し、議会としての行動方針を明確にしておく
- ・ 「発災直後は現場支援、復興期は政策形成」という役割分担を徹底。

3. 所感

- ・ 「防災を福祉として捉える」視点が非常に印象的だった。
- ・ 特に、耐震化やトイレ配布を“費用ではなく投資”と位置づける考えは、地方財政のあり方にも通じる。
- ・ 議会としても、防災を質疑テーマとして常設化し、災害対応力を高めるべきだと感じた。

研修 6

1. 概要

松井市長は、被爆80年の節目にあたり「核兵器のない世界の実現」に向け、日本が果たすべき責任と役割を明確に語った。広島市が進めてきた平和行政の根幹である「広島平和記念都市建設法」と日本国憲法の平和主義を基盤に、政治的立場を超えて“平和文化”を育むことが自治体の使命であると強調した。また、核抑止論に依存する国際情勢の中で、市民社会から規範として「核兵器廃絶」を支持する世論を形成し、地方から世界に発信する必要性を訴えた。

2. 講義の要点

(1) 平和行政の理念と法的基盤

- ・ 日本国憲法前文および第9条を尊重し、「平和を愛する諸国民の公正と信義を信頼する」姿勢を重視。
- ・ 広島平和記念都市建設法（1949年制定）は、平和の象徴都市を建設することを目的とし、市長に平和推進の責務を課している。
- ・ 平和行政は政党や思想を超えた「市民社会の共同の倫理」とであると位置づけた。

(2) 平和文化の構築

- ・ 社会からあらゆる暴力や差別を排除し、互いを尊重する文化を「平和文化」と定義。
- ・ この文化を教育・芸術・スポーツ・交流などを通じて広げることで、戦争を拒む社会規範を形成する。

・広島市では「平和文化月間」を設け、市民・企業・学校が連携して平和イベントを実施。

・若者世代を巻き込むため、STU48を「平和文化大使」に任命し、SNSを活用した啓発活動を展開している。

(3) 国際的ネットワークの展開

・世界166か国・8527都市が加盟する「平和首長会議 (Mayors for Peace)」を通じ、各国都市間で平和連携を推進。

・核保有国を含む都市も参加しており、1万都市加盟を目標に加盟拡大を進めている。

・「PXビジョン (Vision for Peaceful Transformation)」を掲げ、平和文化・都市間協働・持続可能な社会を一体で追求。

(4) 被爆の実相を伝える活動

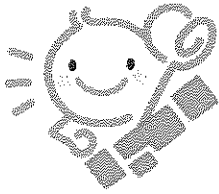
・修学旅行誘致やVR映像の活用により、被爆体験の継承と若者への教育を重視。

・オバマ米大統領、ローマ教皇、G7首脳らが被爆地を訪問したことの意義を紹介し、「祈る平和から、創る平和へ」という理念を掲げた。

・被爆者の高齢化が進む中で、体験を“デジタルと対話”の両面で次世代に伝える仕組みを整備している。

3. 所感

講義を通じて、地方自治体が「平和の主体」として果たすべき役割の重さを改めて感じた。松井市長の言葉には、被爆地としての道義的責任と、自治体外交による国際貢献の展望が込められており、国家間の安全保障が対立構造に陥る今こそ、市民社会から「信頼と共感による平和構築」を発信することが求められていると感じた。飯塚市としても、平和教育や市民交流、非核・非戦の理念を地域レベルで伝承する取組を強化し、次世代に「戦争のない社会を選び取る力」を育てることが重要であると感じた。



2025年9月吉日

全国若手議員の会 会員各位

九州若手議員の会 会長
中村 恵輔（福岡県福津市）

全国若手議員の会 九州ブロック研修会@長崎のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より格別のご高配とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、九州ブロックにて下記の通り、研修会を企画いたしました。
長崎市における「景観と歴史を活かしたまちづくり」を学ぶ視察研修となります。

初日は、景観専門監の高尾忠志氏から「景観行政の取組」を学び、また「まちぶらプロジェクト」や「長崎居留地歴史まちづくり協議会」の活動についての説明を受けます。
若手職員や地域プレイヤーとの意見交換に加え、周辺の古民家改装や景観ガイドラインに基づく修景の事例を体感します。

二日目は大浦地区を訪れ、グラバー園や旧グラバー住宅、大浦天主堂周辺を歩きながら、民間主導のまちづくりを学びます。官民が連携して行った事例や、地域協議会の役割から、民間と地域、行政の連携のあり方を考えます。行政主導と民間主導、二つのモデルを比較できるのが本視察の大きな魅力となります。また、戦後80年を迎えた中、被曝体験者から講和を頂く、大変貴重な機会も設けました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。
敬具

記

開催日：2025年11月12日（水）～11月13日（木）

場所：長崎県勤労福祉会館（長崎市桜町9-6・長崎市役所の隣）及び大浦天主堂周辺

参加資格：現役会員 及び 会員対象者、OBOG

申込方法：Google フォーム ➡



申込締切：10/20（月）正午

◎日程・研修内容

○1日目 11月12日(水)

【研修①】13:00～14:30

「景観行政の取組みについて」

講師：長崎市景観専門監 高尾 忠志氏

場所：長崎県勤労福祉会館（長崎市桜町9-6・長崎市役所の隣）

【研修②】14:30～16:00

「まちぶらプロジェクト、歴史・文化・人を活かしたまちづくりについて」

講師：長崎市役所まちづくり部

場所：長崎県勤労福祉会館（長崎市桜町9-6・長崎市役所の隣）

【研修③】16:00～17:00

「街歩きで事例紹介」

講師：長崎市役所まちづくり部 若手職員・地域プレイヤー

場所：長崎市役所周辺

【懇親会】18:30～

場所：研修会場近くを予定 ・ 会費：6,000円程度

○2日目 11月13日(木)

【研修④】10:00～12:00

「長崎景観地区『大浦地区』のまちづくりについて」

講師：長崎市役所まちづくり部・歴史まちづくり協議会 岩本 諭氏

場所：大浦天守堂駅周辺

【研修⑤】13:30～14:30

「戦後80年、被曝体験者による講話」

講師：三瀬 清一郎氏

場所：平和推進協会（長崎市平野町7-8・路面電車の最寄駅「原爆資料館」）

- ・ 駐車場：長崎県勤労福祉会館には駐車場がありません。隣地の長崎市役所や近隣のパーキングをご利用ください。平和推進協会は駐車場があります。いずれも有料となります。
- ・ 宿泊：各自でご手配をお願いいたします。

【ご参加される方へ重要なお願い】

Google フォームにて参加申し込みをされましたら、速やかに以下のオープンチャットに入室をお願いします。*参加コード：20252026



九州研修参加者 連絡オープンチャット(LINE 機能) ➡

「2025年11月 若手議員の会 九州ブロック研修@長崎 参加者オープンチャット

https://line.me/ti/g2/BZ07upq1xeqW3zg_NUQokZF51PdBo_Cmgg0Zpg?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default

【問い合わせ先】

九州若手議員の会 事務局長：大野 達也（佐伯市議会）

MAIL：sik9.tohno@gmail.com TEL：090 - 7714 - 6132

最新情報、出欠確認についてはオープンチャットにて共有いたしますので、併せて確認ください。

| 令和 7 年度 | | 1 会計 | | (款) 1 | (項) 1 | (目) 1 | (節) 8 | (細節) 1 費用弁償 | | | |
|---------|-----------|---------------|-----------------------|-------|-------|--------|-------|---|-------|-----|--------|
| 旅行者 | 氏名 藤堂彰 | 用務 | 全国若手議員の会 九州ブロック研修会@長崎 | | | | 備考 | 藤堂彰 1日目:長崎県勤労福祉会館・長崎市役所周辺 2日目:大浦天主堂駅周辺・平和推進協会 ※パックなし | | | |
| | | 用務地 | 長崎県長崎市 | | | | | | | | |
| 月 日 | 発着駅名 | 経由 | 鉄 道 賃 | | | | JET賃 | 日 当 | 宿 泊 料 | | |
| | | | 旅程 | 運賃 | 超・特・急 | 料金計 | | | 宿泊地 | 定 額 | |
| 11 | 12 | 新飯塚 ~ 長崎 | 186.1 | 4,180 | 2,660 | 6,840 | | 3,000 | | | |
| | | 長崎駅前 ~ 市役所 | | | | | 路面電車 | 150 | | 長崎市 | 13,300 |
| | 13 | 市役所 ~ 大浦天主堂 | | | | | 路面電車 | 150 | 3,000 | | |
| | | 大浦天主堂 ~ 原爆資料館 | | | | | 路面電車 | 300 | | | |
| | | 原爆資料館 ~ 長崎駅前 | | | | | 路面電車 | 150 | | | |
| | | 長崎 ~ 新飯塚 | 186.1 | 4,180 | 2,660 | 6,840 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 経伺番号 | | 計 | | 8,360 | 5,320 | 13,680 | | 750 | 6,000 | | 13,300 |
| | | | | | | | | | 合計金額 | | 33,730 |

政務活動費 研修会等報告書

(会派 (議員) 名 藤堂彰)

| | |
|-------------|---|
| <p>日時</p> | <p>令和 7年 11月 12日～13日</p> |
| <p>研修内容</p> | <p>(研修名：全国若手議員の会 研修会～長崎～)</p> <p>研修1「景観行政の取組について」 講師：長崎市景観専門監 高尾 忠志氏 場所：長崎県勤労福祉会館 (長崎市桜町 9-6・長崎市役所の隣)</p> <p>研修2・3「まちぶらプロジェクト、歴史・文化・人を活かしたまちづくりについて」 講師：長崎市役所まちづくり部 場所：長崎県勤労福祉会館 (長崎市桜町 9-6・長崎市役所の隣)</p> <p>研修4「長崎景観地区『大浦地区』のまちづくりについて」 講師：長崎市役所まちづくり部・歴史まちづくり協議会 岩本 諭氏 場所：大浦天守堂駅周辺</p> <p>研修5「戦後 80 年、被曝体験者による講話」 講師：三瀬 清一郎氏 場所：平和推進協会 (長崎市平野町 7-8・路面電車の最寄駅「原爆資料館」)</p> |
| <p>所管等</p> | <p>研修1</p> <p>1. 背景 長崎市は、東京大学卒の専門人材の知見を活かし、地域特性に即した都市再生の取り組みを進めている。しかしながら、2018年時点で人口の社会増減数が全国ワーストという厳しい現状に直面しており、持続可能な都市運営が課題である。</p> <p>2. 現状分析 (1) 社会減少の要因</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平地の少なさ：住宅や産業用地の確保が難しく、都市機能が分散。 2. 家賃の低さ：地価・家賃水準の低下により、不動産収益性が低く、民間投資が停滞。 3. 産業基盤の脆弱性：かつての三菱重工・漁業などに依存しており、新産業創出が遅れている。 <p>3. 産業戦略の方向性 (1) オリジンを中心とした地域戦略 「その場所でなければ提供できない価値」を核に、長崎独自の文化・歴史・景観を活</p> |

かした産業構造への転換を目指す。国内観光地から国際交流都市への発展をテーマとし、アジアを中心とした観光・学術・文化ネットワークを形成する。

(2) 重点施策

1. 公共事業デザインの指導・管理

都市景観・交通・照明などの統合的なデザインマネジメントを推進する。

2. 職員の人材育成

行政職員に対する都市計画・観光戦略・国際交流分野の専門研修を実施し、政策実行力を高める。

4. 都市景観プロジェクト

(1) 長崎夜景シンポジウム

市民・専門家・事業者が連携し、夜景を活用した観光・防犯・景観の一体的整備を検討。平和記念公園、眼鏡橋、出島など主要観光地において、国補助1/2を獲得し、照明・インフラ整備を実施。

(2) 照明デザインの方針

従来の防犯灯を一部撤去し、景観に調和したメイン照明と路面照度の確保を重視。これにより、エネルギー効率の向上と観光魅力の両立を図る。

5. 交通拠点整備

長崎駅の在来線・新幹線駅舎の調整を実施し、一体感のある都市ゲートウェイデザインを形成。観光客・通勤者双方の利便性向上と、まち全体の回遊性促進に寄与している。

長崎市は人口減少の中、「その場所でしか提供できない価値」を軸に再生を進めている。飯塚市も炭鉱遺産など地域資源を活かし、景観と観光を融合させることが重要だ。高度成長期のようなハコもの中心の施策ではなく、今は人的資本への投資が求められる。文化・デザイン・人材で再興をはかっていきたい。

研修 2・3

1. 概要

長崎市のまちなかプロジェクトは、市民が主役となり中心市街地を再生する取組である。前段の整理（準備期間）が丁寧で、理念や目的が明確である点は高く評価できる。ただし、職員の異動による情報の断絶が課題であり、議員が継続的にチェックし、行政の記憶を補うことが求められる。

2. 理念

理念は「人を優先する」。

ハード整備を目的化せず、人の動きや交流を中心に置いた都市づくりを進めている。

3. 現状の課題

最大の課題は、用地買収後の空白期間をどう活かすかである。整備完了までの間に市民や民間団体が暫定的に活用し、にぎわいと市民の愛着を維持していく必要がある。

4. 市民参加と合意形成

ワークショップでは市民の意見が分かれることもあるが、それを恐れず、地域が自ら答えを導き出すプロセスを重視している。この「議論を恐れず動く文化」は地方都市において特に重要な視点である。

5. 地域支援の仕組み

「まちぶらプロジェクト」は、市長認定で地域団体の活動を幅広く支援する補助制度である。飯塚市で廃止された「チャレンジング事業」の後継制度として、地域が主体的に挑戦できる柔軟な支援枠の再設計が必要である。

飯塚市でも、まちなか再生には「人を優先する」発想が必須である。用地の空白期間を実験の場として開き、行政・市民・大学・企業が協働し、挑戦を支える制度設計を行うことが重要である。

研修 4

1. 概要

大浦地区は長崎市の景観地区で、斜面地が多い地域である。市全体の約43%が斜面地であり、車が通れない細い道・階段が多く、空き家や高齢化の問題が顕著である。

2. 現状と課題

- ・ 接道要件を満たさず新築が困難
- ・ 老朽化住宅を取り壊しても再建できず空き家が増加
- ・ 斜面地ゆえの移動困難、生活道路の制約

3. 地域の対応

新築が難しい条件のため、空き家リノベーションによる再生が進んでいる。眺望や歴史的建物など「長崎ならではの景観価値」を維持しつつ再利用を促す取り組みである。

4. 所感

斜面地の物理的条件や法制度の制約が、まちの再生を難しくしている現実を体感した。一方で、住民がリノベーションを通じて「住み続けられるまち」を目指す姿勢に強い意志を感じた。

飯塚市でも空き家活用は重要課題である。「新築ではなく再生」という発想を取り入れ、住民・行政・専門家が連携したリノベーションモデルを構築することが必要である。

研修 5

1. 講演概要

三瀬清一郎氏（国民学校1年生時に被爆）は、原爆の惨状、戦時下の生活、核兵器の非人道性について語られた。

2. 被爆体験

原爆は上空500mで爆発し、3000～4000度の熱線が地上に降り注いだ。焦げた人々の姿や校庭での遺体焼却など、極めて凄惨な状況が語られた。

3. 戦後の生活

深刻な食糧難の中、木の実などを食べて生き延びた。物が極端に不足する中、「鉛筆を最後まで使う」など、物を大切にする文化が根付いていた。

核兵器の問題。世界には約1万5千発の核兵器が存在し、その半数を米露が保有。戦争を知る世代と知らない世代の「戦争認識の差」が広がっていることに強い危機感を示された。

○ 全国若手議員の会 政調部会プレ研修・研究会のご案内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、全国若手議員の会政調部会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、このたび本会では、4月に予定しております研修会に向け、その事前知識の共有および議論の深化を目的として、下記のとおりプレ研修・研究会を開催する運びとなりました。年初の大変お忙しい時期とは存じますが、皆様の政策形成の一助となる内容を準備いたしました。ぜひ積極的にご参加くださいますようお願い申し上げます。

【開催概要】

■ 日程 2026年1月28日(水)～29日(木)

【1日目:1月28日(水)】

15:30 仙台駅集合※地下鉄南北線で移動します(運賃210円・Suica等をご準備ください)

16:00 防災環境都市推進室 防災環境都市企画担当課

「災害対策に関わる本市から国への予算要望」

17:30 せんだいメディアテーク 市民によるメディア活動サポートの取組を視察

【2日目:1月29日(木)】

09:00 危機管理局 防災減災推進部 防災計画課

「災害を超えてきた本市の備蓄と避難所運営の変化」

11:00 現地視察 震災遺構荒浜小学校

<https://arahama.sendai311-memorial.jp/>

【参加費】無料

【お問い合わせ】

全国若手議員の会 政調部会

政調部会長 ごうこ正太郎(仙台市議会)

| 令和 7 年度 | | 1 会計 | | (款) 1 | (項) 1 | (目) 1 | (節) 8 | (細節) 1 費用弁償 | | | |
|---------|-----------|-------------|-----------------------|-------|-------|-------|---------|-------------|-------|---------|--|
| 旅行者 | 氏名 藤堂彰 | 用務 | 全国若手議員の会 政調部会プレ研修・研究会 | | | | 備考 | 藤堂彰 | | | |
| | | 用務地 | 宮城県仙台市 | | | | | ※パックなし | | | |
| 月 日 | 発着駅名 | 経由 | 鉄 道 賃 | | | | JET賃 | 日 当 | 宿 泊 料 | | |
| | | | 旅程 | 運賃 | 超・特・急 | 料金計 | | | 宿泊地 | 定額 | |
| 1 | 28 | 新飯塚 ~ 博多 | | 870 | | 870 | | 3,000 | | | |
| | | 博多 ~ 福岡空港 | | | | | 地下鉄 260 | | | | |
| | | 福岡空港 ~ 仙台空港 | | | | | 39,070 | | | | |
| | | 仙台空港 ~ 仙台 | | 660 | | 660 | | | 仙台市 | 14,800 | |
| | 29 | 仙台 ~ 仙台空港 | | 660 | | 660 | | 3,000 | | | |
| | | 仙台空港 ~ 福岡空港 | | | | | 39,070 | | | | |
| | | 福岡空港 ~ 博多 | | | | | 地下鉄 260 | | | | |
| | | 博多 ~ 新飯塚 | | 870 | | 870 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 経伺番号 | | 計 | | 3,060 | 0 | 3,060 | 78,660 | 6,000 | | 14,800 | |
| | | | | | | | | 合計金額 | | 102,520 | |

政務活動費 研修会等報告書

(会派 (議員) 名 藤堂彰)

| | |
|-------------|---|
| <p>日時</p> | <p>令和 7年 1月 28～29日</p> |
| <p>研修内容</p> | <p>(研修名：仙台市での研修・研究会) 【日程】 令和8年1月28日 (水)～29日 (木) 【場所】 宮城県仙台市 (仙台市役所、せんだいメディアテーク、震災遺構荒浜小学校ほか) 【研修名】 全国若手議員の会 政調部会プレ研修・研究会 【調査目的】 東日本大震災の被災地である仙台市の「防災環境都市」としての取り組みを精査し、本市における大規模災害への備え、および公共施設を活用した市民活動支援の在り方を調査・研究することを目的とする。</p> |
| <p>所管等</p> | <p>■ 第1日目：1月28日 (水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 防災環境都市推進室 視察：災害対策に関わる国への予算要望 <ul style="list-style-type: none"> ○ 仙台市が掲げる「防災環境都市」の理念に基づき、地方自治体が直面する財政的課題と、それに対する国への働きかけの具体策を調査。 ○ 特に、インフラの強靱化や避難所の環境改善など、多額の予算を要する事業において、どのような法的根拠やデータを用いて国から有利な財源を確保しているのか、そのロジックを把握。 ● せんだいメディアテーク 視察：市民によるメディア活動サポート <ul style="list-style-type: none"> ○ 震災の記憶を風化させないためのアーカイブ活動や、市民が主体となって情報を発信・共有する仕組みを視察する。 ○ 単なる図書・美術施設に留まらず、多様な市民が交わり、地域の課題を可視化していくプロセスにおける行政の「伴走型支援」の在り方について実地確認を行う。 <p>■ 第2日目：1月29日 (木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 危機管理局 視察：備蓄と避難所運営の高度化 <ul style="list-style-type: none"> ○ 発災直後の混乱から得た教訓を、具体的にどう「避難所運営マニュアル」へ落とし込んだかを聴取。 ○ 備蓄品目については、食料・飲料水のみならず、段ボールベッドや簡易トイレの確保、女性や高齢者、障害者に配慮した「尊厳を守るための物資」の選定基準について詳しく学ぶ。 ● 震災遺構荒浜小学校 視察：記憶の継承と防災教育 <ul style="list-style-type: none"> ○ 校舎をそのまま遺構として保存している荒浜小学校を訪れ、ハード面での防災対策 (津波避難ビルとしての機能) と、ソフト面での防災教 |

育（語り部や展示）の融合を視察。

- 「災害を自分事として捉える」ための教育プログラムが、どのように地域コミュニティの防災力向上に寄与しているかを調査する。

2. 所感および本市への政策反映

1. 防災・減災を「投資」と捉える視点 仙台市の取り組みは、過去の研修（姫路や徳島の事例）でも議論された「予防保全」や「尊厳を守る防災」の実践例である。本市においても、国や県の補助金（地方創生交付金等）を最大限活用し、避難所の環境整備を「単なる消費」ではなく「市民の命と生活を守る投資」として再定義する議論が必要である。
2. 市民参画型の記録保存とコミュニティ形成 せんだいメディアテークの事例は、本市の公共施設マネジメントにおける「機能の多角化」に繋がるヒントがある。既存の公民館や文化施設を、市民が地域の歴史や課題を学び、共有する拠点へとアップデートしていくべきである。
3. 避難所運営における「当事者意識」の醸成 荒浜小学校の教訓からは、行政主導の避難訓練を「市民自らが考え、動くための学びの場」へと転換する必要性を感じた。本市の防災計画においても、住民が主体的に避難所運営に関わるような仕組みづくり（個別避難計画の策定推進等）を加速させたい。

(別添様式1)

政 務 活 動 費 収 支 報 告 明 細 書

(会派 (議員) 藤堂 彰)

(資料作成費、 1枚中 1枚)

| 支出年月日 | 科 目 | 内 容 | 金額 (円) | 備 考 |
|------------|----------|-----------------------|--------|--------------|
| R7. 4. 10 | その他の経費 | Microsoft365 Personal | 1,065 | 2,130円の半額を計上 |
| R7. 4. 24 | その他の経費 | ChatGPT Plus | 1,628 | 3,256円の半額を計上 |
| R7. 5. 10 | その他の経費 | Microsoft365 Personal | 1,065 | 2,130円の半額を計上 |
| R7. 5. 24 | その他の経費 | ChatGPT Plus | 1,636 | 3,271円の半額を計上 |
| R7. 6. 10 | その他の経費 | Microsoft365 Personal | 1,065 | 2,130円の半額を計上 |
| R7. 6. 24 | その他の経費 | ChatGPT Plus | 1,679 | 3,357円の半額を計上 |
| R7. 7. 10 | その他の経費 | Microsoft365 Personal | 1,065 | 2,130円の半額を計上 |
| R7. 7. 24 | その他の経費 | ChatGPT Plus | 1,670 | 3,339円の半額を計上 |
| R7. 8. 10 | その他の経費 | Microsoft365 Personal | 1,065 | 2,130円の半額を計上 |
| R7. 8. 24 | その他の経費 | ChatGPT Plus | 1,688 | 3,375円の半額を計上 |
| R7. 9. 10 | その他の経費 | Microsoft365 Personal | 1,065 | 2,130円の半額を計上 |
| R7. 9. 24 | その他の経費 | ChatGPT Plus | 1,678 | 3,355円の半額を計上 |
| R7. 10. 10 | その他の経費 | Microsoft365 Personal | 1,065 | 2,130円の半額を計上 |
| R7. 10. 24 | その他の経費 | ChatGPT Plus | 1,733 | 3,466円の半額を計上 |
| R7. 11. 10 | その他の経費 | Microsoft365 Personal | 1,065 | 2,130円の半額を計上 |
| R7. 11. 24 | その他の経費 | ChatGPT Plus | 1,787 | 3,574円の半額を計上 |
| R7. 12. 10 | その他の経費 | Microsoft365 Personal | 1,065 | 2,130円の半額を計上 |
| R7. 12. 24 | その他の経費 | ChatGPT Plus | 1,783 | 3,565円の半額を計上 |
| R8. 1. 10 | その他の経費 | Microsoft365 Personal | 1,065 | 2,130円の半額を計上 |
| R8. 1. 24 | その他の経費 | ChatGPT Plus | 1,806 | 3,611円の半額を計上 |
| R8. 2. 10 | その他の経費 | Microsoft365 Personal | 1,065 | 2,130円の半額を計上 |
| R8. 3. 10 | その他の経費 | Microsoft365 Personal | 1,065 | 2,130円の半額を計上 |
| | 印刷製本費 | | 0 | |
| | 翻訳料 | | 0 | |
| 小 計 | 事務機器等購入費 | | 0 | |
| | リース代 | | 0 | |
| | その他の経費 | | 29,868 | |
| 合 計 | | | 29,868 | |

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 藤堂 彰)

(資料作成費、No. /)

(領収証等貼付箇所)

| ご利用日 | ご利用先 | ご利用金額 (円) | 現地通貨額 | 通貨略称 | 換算レート | 口座引落分 (円) |
|----------|-----------|--------------|-------|------|-------|--------------|
| 20250410 | Microsoft | 2130 | | | | 2130 |
| 20250510 | Microsoft | 2130 | | | | 2130 |
| 20250610 | Microsoft | 2130 | | | | 2130 |
| 20250710 | Microsoft | 2130 | | | | 2130 |
| 20250810 | Microsoft | 2130 | | | | 2130 |
| 20250910 | Microsoft | 2130 | | | | 2130 |
| 20251010 | Microsoft | 2130 | | | | 2130 |
| 20251110 | Microsoft | 2130 | | | | 2130 |
| 20251210 | Microsoft | 2130 | | | | 2130 |
| 20260110 | Microsoft | 2130 | | | | 2130 |
| 20260210 | Microsoft | 2130 | | | | 2130 |
| 20260310 | Microsoft | 2130 | | | | 2130 |

| ご利用日 | ご利用先 | ご利用金額 (円) | 現地通貨額 | 通貨略称 | 換算レート | 口座引落分 (円) |
|----------|------------------------|--------------|--------|------|---------|--------------|
| 20250424 | OPENAI *CHATGPT SUBSCR | 3256 | 22 USD | | 148 | 3256 |
| 20250524 | OPENAI *CHATGPT SUBSCR | 3271 | 22 USD | | 148.682 | 3271 |
| 20250624 | OPENAI *CHATGPT SUBSCR | 3357 | 22 USD | | 152.591 | 3357 |
| 20250724 | OPENAI *CHATGPT SUBSCR | 3339 | 22 USD | | 151.773 | 3339 |
| 20250824 | OPENAI *CHATGPT SUBSCR | 3375 | 22 USD | | 153.41 | 3375 |
| 20250924 | OPENAI *CHATGPT SUBSCR | 3355 | 22 USD | | 152.5 | 3355 |
| 20251024 | OPENAI *CHATGPT SUBSCR | 3466 | 22 USD | | 157.546 | 3466 |
| 20251124 | OPENAI *CHATGPT SUBSCR | 3574 | 22 USD | | 162.455 | 3574 |
| 20251224 | OPENAI *CHATGPT SUBSCR | 3565 | 22 USD | | 162.046 | 3565 |
| 20260124 | OPENAI *CHATGPT SUBSCR | 3611 | 22 USD | | 164.137 | 3611 |

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 藤堂 彰)

(資料作成費、No. ²/_≠)

(領収証等貼付箇所)



請求書



ご質問がございましたら、次にアクセスしてください。

<http://support.microsoft.com/>サポート対象の製品を選択してください。

請求書番号: 6387988795156673275

日付: 2025/04/10

お客様名 todo akira
目尾504-45
飯塚市 fukuokaken 820-0062
Japan

| 内訳 | 数量 | 小計 | 税率 | 税額 | 金額 |
|------------------------|-----|----------|--------|--------|-------------------|
| Microsoft 365 Personal | 1.0 | 1,936.00 | 10.00% | 194.00 | 2,130.00 |
| 合計金額 | | 1,936.00 | | 194.00 | 2,130.00 (JPY) |

Microsoft Japan Co., Ltd. Shinagawa Grand Central Tower, 2-16-3 Konan,
Minato-ku, Tokyo. 108-0075, Japan

登録番号 T2010401092245

Microsoft
1/1

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 藤堂 彰)

(資料作成費、No. ³)

(領収証等貼付箇所)

Receipt

OpenAI

Invoice number DEAS4191-0001
Receipt number 2826-3794-0967
Date paid April 24, 2025

OpenAI, LLC
1455 3rd Street
San Francisco, California 94158
United States
ar@openai.com
JP TRN T4700150127989

Bill to
akira todo
〒8200062
福岡県
飯塚市目尾504-45
Japan

\$22.00 paid on April 24, 2025

| Description | Qty | Unit price | Tax | Amount |
|--|-----|---------------------|-----|---------|
| ChatGPT Plus Subscription Apr 24-May 24, 2025 | 1 | \$20.00 | 10% | \$20.00 |
| | | Subtotal | | \$20.00 |
| | | Total excluding tax | | \$20.00 |

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 藤堂 彰)

(資料作成費、No. ⁴~~3~~)

(領収証等貼付箇所)



請求書



ご質問がございましたら、次にアクセスしてください。

<http://support.microsoft.com/>サポート対象の製品を選択してください。

請求書番号: 6388243418489302912

日付: 2025/05/10

お客様名 todo akira
目尾504-45
飯塚市 fukuokaken 820-0062
Japan

| 内訳 | 数量 | 小計 | 税率 | 税額 | 金額 |
|------------------------|-----|----------|--------|--------|-------------------|
| Microsoft 365 Personal | 1.0 | 1,936.00 | 10.00% | 194.00 | 2,130.00 |
| 合計金額 | | 1,936.00 | | 194.00 | 2,130.00 (JPY) |

Microsoft Japan Co., Ltd., Shinagawa Grand Central Tower, 2-16-3 Konan,
Minato-ku, Tokyo, 108-0075, Japan

Microsoft

1/1

登録番号 T2010401092245

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 藤堂 彰)

(資料作成費、No. ⁵/~~4~~)

(領収証等貼付箇所)

Receipt



Invoice number DEA54191-0002
Receipt number 2295-5371
Date paid May 24, 2025

OpenAI, LLC
1455 3rd Street
San Francisco, California 94158
United States
ar@openai.com
JP TRN T4700150127989

Bill to
akira todo
〒8200062
福岡県
飯塚市目尾504-45
Japan

\$22.00 paid on May 24, 2025

| Description | Qty | Unit price | Tax | Amount |
|--|-----|---------------------|-----|---------|
| ChatGPT Plus Subscription May 24-Jun 24, 2025 | 1 | \$20.00 | 10% | \$20.00 |
| | | Subtotal | | \$20.00 |
| | | Total excluding tax | | \$20.00 |

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 藤堂 彰)

6
(資料作成費、No. 寺)

(領収証等貼付箇所)



請求書



ご質問がございましたら、次にアクセス
してください。

<http://support.microsoft.com/>サポート
対象の製品を選択してください。

請求書番号: 6388511955595085978

日付: 2025/06/10

お客様名 todo akira
目尾504-45
飯塚市 fukuokaken 820-0062
Japan

| 内訳 | 数量 | 小計 | 税率 | 税額 | 金額 |
|------------------------|-----|----------|--------|--------|-------------------|
| Microsoft 365 Personal | 1.0 | 1,936.00 | 10.00% | 194.00 | 2,130.00 |
| 合計金額 | | 1,936.00 | | 194.00 | 2,130.00 (JPY) |

Microsoft Japan Co., Ltd., Shinagawa Grand Central Tower, 2-16-3 Konan,
Minato-ku, Tokyo, 108-0075, Japan

登録番号 T2010401092245

Microsoft

1/1

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 藤堂 彰)

(資料作成費、No. ⁷~~6~~)

(領収証等貼付箇所)

Receipt



Invoice number DEA54191-0003
Receipt number 2860-0091-4369
Date paid June 24, 2025

OpenAI, LLC
1455 3rd Street
San Francisco, California 94158
United States
ar@openai.com
JP TRN T4700150127989

Bill to
akira todo
〒8200062
福岡県
飯塚市目尾504-45
Japan

\$22.00 paid on June 24, 2025

| Description | Qty | Unit price | Tax | Amount |
|--|-----|---------------------|-----|---------|
| ChatGPT Plus Subscription Jun 24-Jul 24, 2025 | 1 | \$20.00 | 10% | \$20.00 |
| | | Subtotal | | \$20.00 |
| | | Total excluding tax | | \$20.00 |

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 藤堂 彰)

8
(資料作成費、No. 7)

(領収証等貼付箇所)



請求書



ご質問がございましたら、次にアクセス
してください。

<http://support.microsoft.com/>サポート
対象の製品を選択してください。

請求書番号: 6368772396002828061

日付: 2025/07/10

お客様名 todo akira
目尾504-45
飯塚市 fukuokaken 820-0062
Japan

| 内訳 | 数量 | 小計 | 税率 | 税額 | 金額 |
|------------------------|-----|----------|--------|--------|-------------------|
| Microsoft 365 Personal | 1.0 | 1,936.00 | 10.00% | 194.00 | 2,130.00 |
| 合計金額 | | 1,936.00 | | 194.00 | 2,130.00 (JPY) |

Microsoft Japan Co., Ltd. Shinagawa Grand Central Tower, 2-16-3 Konan,
Minato-ku, Tokyo, 108-0075, Japan

Microsoft

1/1

登録番号 T2010401092245

政務活動費 領収証等添付用紙

9
(資料作成費、No. ㊦)

(会派 (議員) 名 藤堂 彰)

(領収証等貼付箇所)

Receipt

OpenAI

Invoice number DEA54191-0004
Receipt number 2363-6829
Date paid July 24, 2025

OpenAI, LLC
1455 3rd Street
San Francisco, California 94158
United States
ar@openai.com
JP TRN T4700150127989

Bill to
akira todo
〒8200062
福岡県
飯塚市目尾504-45
Japan

\$22.00 paid on July 24, 2025

| Description | Qty | Unit price | Tax | Amount |
|--|-----|---------------------|-----|---------|
| ChatGPT Plus Subscription Jul 24-Aug 24, 2025 | 1 | \$20.00 | 10% | \$20.00 |
| | | Subtotal | | \$20.00 |
| | | Total excluding tax | | \$20.00 |

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 藤堂 彰)

10
(資料作成費、No. ~~9~~)

(領収証等貼付箇所)



請求書



ご質問がございましたら、次にアクセス
してください。

<http://support.microsoft.com/>サポート
対象の製品を選択してください。

請求書番号: 6389039752893000220

日付: 2025/08/10

お客様名 todo akira
目尾504-45
飯塚市 fukuokaken 820-0062
Japan

| 内訳 | 数量 | 小計 | 税率 | 税額 | 金額 |
|------------------------|-----|----------|--------|--------|-------------------|
| Microsoft 365 Personal | 1.0 | 1,936.00 | 10.00% | 194.00 | 2,130.00 |
| 合計金額 | | 1,936.00 | | 194.00 | 2,130.00 (JPY) |

Microsoft Japan Co., Ltd., Shinagawa Grand Central Tower, 2-16-3 Konan,
Minato-ku, Tokyo, 108-0075, Japan

Microsoft
1/1

登録番号 T2010401092245

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 藤堂 彰)

//
(資料作成費、No. ~~40~~)

(領収証等貼付箇所)

Receipt

OpenAI

Invoice number DEA54191-0005
Receipt number 2558-6973-0382
Date paid August 24, 2025

OpenAI, LLC
1455 3rd Street
San Francisco, California 94158
United States
ar@openai.com
JP TRN T4700150127989

Bill to
akira todo
〒8200062
福岡県
飯塚市目尾504-45
Japan

\$22.00 paid on August 24, 2025

| Description | Qty | Unit price | Tax | Amount |
|--|-----|---------------------|-----|---------|
| ChatGPT Plus Subscription Aug 24-Sep 24, 2025 | 1 | \$20.00 | 10% | \$20.00 |
| | | Subtotal | | \$20.00 |
| | | Total excluding tax | | \$20.00 |

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 藤堂 彰)

12
(資料作成費、No. ~~##~~)

(領収証等貼付箇所)



請求書



ご質問がございましたら、次にアクセスしてください。

<http://support.microsoft.com/>サポート対象の製品を選択してください。

請求書番号: 6389306199533360068

日付: 2025/09/10

お客様名 todo akira
目尾504-45
飯塚市 fukuokaken 820-0062
Japan

| 内訳 | 数量 | 小計 | 税率 | 税額 | 金額 |
|------------------------|-----|----------|--------|--------|-------------------|
| Microsoft 365 Personal | 1.0 | 1,936.00 | 10.00% | 194.00 | 2,130.00 |
| 合計金額 | | 1,936.00 | | 194.00 | 2,130.00 (JPY) |

Microsoft Japan Co., Ltd. Shinagawa Grand Central Tower, 2-16-3 Konan,
Minato-ku. Tokyo. 108-0075, Japan

Microsoft
1/1

登録番号 T2010401092245

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 藤堂 彰)

13
(資料作成費、No. ~~73~~)

(領収証等貼付箇所)

Receipt

OpenAI

Invoice number DEA54191-0006
Receipt number 2364-9658-1219
Date paid September 24, 2025

OpenAI, LLC
1455 3rd Street
San Francisco, California 94158
United States
ar@openai.com
JP TRN T4700150127989

Bill to
akira todo
〒8200062
福岡県
飯塚市目尾504-45
Japan

\$22.00 paid on September 24, 2025

| Description | Qty | Unit price | Tax | Amount |
|--|-----|---------------------|-----|---------|
| ChatGPT Plus Subscription Sep 24-Oct 24, 2025 | 1 | \$20.00 | 10% | \$20.00 |
| | | Subtotal | | \$20.00 |
| | | Total excluding tax | | \$20.00 |

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 藤堂 彰)

14
(資料作成費、No. ~~14~~)

(領収証等貼付箇所)



請求書



ご質問がございましたら、次にアクセスしてください。

<http://support.microsoft.com/>サポート対象の製品を選択してください。

請求書番号: 6369566753321294647

日付: 2025/10/10

お客様名 todo akira
目尾504-45
飯塚市 fukuokaken 820-0062
Japan

| 内訳 | 数量 | 小計 | 税率 | 税額 | 金額 |
|------------------------|-----|----------|--------|--------|-------------------|
| Microsoft 365 Personal | 1.0 | 1,936.00 | 10.00% | 194.00 | 2,130.00 |
| 合計金額 | | 1,936.00 | | 194.00 | 2,130.00 (JPY) |

Microsoft Japan Co., Ltd., Shinagawa Grand Central Tower, 2-16-3 Konan,
Minato-ku, Tokyo, 108-0075, Japan

Microsoft

1/1

登録番号 T2010401092245

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 藤堂 彰)

15
(資料作成費、No. ~~44~~)

(領収証等貼付箇所)

Receipt

OpenAI

Invoice number DEA54191-0007
Receipt number 2243-1145-4666
Date paid October 24, 2025

OpenAI, LLC
1455 3rd Street
San Francisco, California 94158
United States
ar@openai.com
JP TRN T4700150127989

Bill to
akira todo
〒8200062
福岡県
飯塚市目尾504-45
Japan

\$22.00 paid on October 24, 2025

| Description | Qty | Unit price | Tax | Amount |
|---|-----|---------------------|-----|---------|
| ChatGPT Plus Subscription (per seat) Oct 24-Nov 24, 2025 | 1 | \$20.00 | 10% | \$20.00 |
| | | Subtotal | | \$20.00 |
| | | Total excluding tax | | \$20.00 |

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 藤堂 彰)

16
(資料作成費、No. ~~75~~)

(領収証等貼付箇所)



請求書



ご質問がございましたら、次にアクセスしてください。

<http://support.microsoft.com/> サポート対象の製品を選択してください。

請求書番号: 6389861061536748403

日付: 2025/11/13

お客様名 todo akira
目尾504-45
飯塚市 fukuokaken 820-0062
Japan

| 内訳 | 数量 | 小計 | 税率 | 税額 | 金額 |
|------------------------|-----|----------|--------|--------|-------------------|
| Microsoft 365 Personal | 1.0 | 1,936.00 | 10.00% | 194.00 | 2,130.00 |
| 合計金額 | | 1,936.00 | | 194.00 | 2,130.00 (JPY) |

Microsoft Japan Co., Ltd. Shinagawa Grand Central Tower, 2-16-3 Konan,
Minato-ku, Tokyo, 108-0075, Japan

Microsoft
1/1

登録番号 T2010401092245

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 藤堂 彰)

(資料作成費、No. ¹⁷~~76~~)

(領収証等貼付箇所)

Receipt

OpenAI

Invoice number DEA54191-0008
Receipt number 2573-3666-1952
Date paid November 24, 2025

OpenAI, LLC
1455 3rd Street
San Francisco, California 94158
United States
ar@openai.com
JP TRN T4700150127989

Bill to
akira todo
〒8200062
福岡県
飯塚市目尾504-45
Japan

\$22.00 paid on November 24, 2025

| Description | Qty | Unit price | Tax | Amount |
|---|-----|---------------------|-----|---------|
| ChatGPT Plus Subscription (per seat) Nov 24-Dec 24, 2025 | 1 | \$20.00 | 10% | \$20.00 |
| | | Subtotal | | \$20.00 |
| | | Total excluding tax | | \$20.00 |

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 藤堂 彰)

(資料作成費、No. ¹⁸~~17~~)

(領収証等貼付箇所)



請求書



ご質問がございましたら、次にアクセスしてください。

<http://support.microsoft.com/> サポート対象の製品を選択してください。

請求書番号: 6390096621962828164

日付: 2025/12/10

お客様名 todo akira
目尾504-45
飯塚市 fukuokaken 820-0062
Japan

| 内訳 | 数量 | 小計 | 税率 | 税額 | 金額 |
|------------------------|-----|----------|--------|--------|-------------------|
| Microsoft 365 Personal | 1.0 | 1,936.00 | 10.00% | 194.00 | 2,130.00 |
| 合計金額 | | 1,936.00 | | 194.00 | 2,130.00 (JPY) |

Microsoft Japan Co., Ltd., Shinagawa Grand Central Tower, 2-16-3 Konan,
Minato-ku, Tokyo, 108-0075, Japan

Microsoft

1/1

登録番号 T2010401092245

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 藤堂 彰)

(資料作成費、No. ¹⁹~~18~~)

(領収証等貼付箇所)

Receipt

OpenAI

Invoice number DEA54191-0009
Receipt number 2695-2579-5550
Date paid December 24, 2025

OpenAI, LLC
1455 3rd Street
San Francisco, California 94158
United States
ar@openai.com
JP TRN T4700150127989

Bill to
akira todo
〒8200062
福岡県
飯塚市目尾504-45
Japan

\$22.00 paid on December 24, 2025

| Description | Qty | Unit price | Tax | Amount |
|---|-----|---------------------|-----|---------|
| ChatGPT Plus Subscription (per seat) Dec 24, 2025-Jan 24, 2026 | 1 | \$20.00 | 10% | \$20.00 |
| | | Subtotal | | \$20.00 |
| | | Total excluding tax | | \$20.00 |

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 藤堂 彰)

(資料作成費、No. ²⁰~~19~~)

(領収証等貼付箇所)



請求書



ご質問がございましたら、次にアクセスしてください。

<http://support.microsoft.com/> サポート対象の製品を選択してください。

請求書番号: 6390364212878542072

日付: 2026/01/10

お客様名 todo akira
目尾504-45
飯塚市 fukuokaken 820-0062
Japan

| 内訳 | 数量 | 小計 | 税率 | 税額 | 金額 |
|------------------------|-----|----------|--------|--------|-------------------|
| Microsoft 365 Personal | 1.0 | 1,936.00 | 10.00% | 194.00 | 2,130.00 |
| 合計金額 | | 1,936.00 | | 194.00 | 2,130.00 (JPY) |

Microsoft Japan Co., Ltd., Shinagawa Grand Central Tower, 2-16-3 Konan,
Minato-ku, Tokyo, 108-0075, Japan

Microsoft
1/1

登録番号 T2010401092245

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 藤堂 彰)

2/
(資料作成費、No. ~~20~~)

(領収証等貼付箇所)

Receipt

OpenAI

Invoice number DEA54191-0010
Receipt number 2887-6266-7717
Date paid January 24, 2026

OpenAI OpCo, LLC
1455 3rd Street
San Francisco, California 94158
United States
ar@openai.com
JP TRN T3700150133253

Bill to
akira todo
〒8200062
福岡県
飯塚市目尾504-45
Japan

\$22.00 paid on January 24, 2026

| Description | Qty | Unit price | Tax | Amount |
|---|-----|---------------------|-----|---------|
| ChatGPT Plus Subscription (per seat) Jan 24-Feb 24, 2026 | 1 | \$20.00 | 10% | \$20.00 |
| | | Subtotal | | \$20.00 |
| | | Total excluding tax | | \$20.00 |

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 藤堂 彰)

(資料作成費、No. ~~27~~²²)

(領収証等貼付箇所)



請求書



ご質問がございましたら、次にアクセスしてください。

<http://support.microsoft.com/> サポート対象の製品を選択してください。

請求書番号: 6390630517644197965

日付: 2026/02/10

お客様名 todo akira
目尾504-45
飯塚市 fukuokaken 820-0062
Japan

| 内訳 | 数量 | 小計 | 税率 | 税額 | 金額 |
|------------------------|-----|----------|--------|--------|-------------------|
| Microsoft 365 Personal | 1.0 | 1,936.00 | 10.00% | 194.00 | 2,130.00 |
| 合計金額 | | 1,936.00 | | 194.00 | 2,130.00 (JPY) |

Microsoft Japan Co., Ltd., Shinagawa Grand Central Tower, 2-16-3 Konan,
Minato-ku, Tokyo, 108-0075, Japan

Microsoft
1/1

登録番号 T2010401092245

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 藤堂 彰)

(資料作成費、No. ²³ ~~22~~)

(領収証等貼付箇所)



請求書



ご質問がございましたら、次にアクセスしてください。

<http://support.microsoft.com/>サポート対象の製品を選択してください。

請求書番号: 6390871972947721182

日付: 2026/03/10

お客様名 todo akira
目尾504-45
飯塚市 fukuokaken 820-0062
Japan

| 内訳 | 数量 | 小計 | 税率 | 税額 | 金額 |
|------------------------|-----|----------|--------|--------|-------------------|
| Microsoft 365 Personal | 1.0 | 1,936.00 | 10.00% | 194.00 | 2,130.00 |
| 合計金額 | | 1,936.00 | | 194.00 | 2,130.00 (JPY) |

Microsoft Japan Co., Ltd. Shinagawa Grand Central Tower, 2-16-3 Konan,
Minato-ku, Tokyo, 108-0075, Japan

Microsoft
1/1

登録番号 T2010401092245

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 藤堂 彰)

(広報費、No. /)

(領収証等貼付箇所)

領収書

藤堂 彰 様

【別納引受】
区内特別基 (定) 16.5g
@96 148通 ¥14,208

小 計 ¥14,208
郵便物引受合計通数 148通
課税計(10%) ¥14,208
(内消費税等(10%) ¥1,291)
非課税計 ¥0

△計 ¥14,208
□計 ¥14,208
お預り PayPay ¥14,208



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2025年 6月11日 9:06
発行No. 250611A6747 端N96箱01
連絡先: 幸袋郵便局
TEL: 0948-22-0982

<QR決済>
[支払票(売上)]

加盟店名
ニホソウビソ
TEL 0948-22-0982
伝票番号 06194
ブランド PayPay
端末番号 71134-620-57148
加盟店取引番号
71134620571480006194
ご利用日 2025/06/11 09:06:30

金額 ¥14,208
お客様控え

領収書

領収書番号: 0071-7-000068

納入者 住所 : 飯塚市目尾504-45

氏名 : 藤堂彰 様

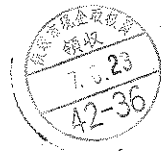
| | | | | |
|---|----|----|----|-------------------|
| 7 | 年度 | 科目 | 01 | 一般会計 |
| | | 款 | 15 | 使用料及び手数料 |
| | | 項 | 01 | 使用料 |
| | | 目 | 01 | 総務使用料 |
| | | 節 | 01 | 総務管理使用料 |
| | | 細節 | 09 | 交流センター使用料 細々節 001 |

領収金額 ¥4,130-

納入期限 2025年6月28日

一括調定番号 10726

領収印 上記のとおり領収いたしました。



許可書番号 : 0071-7-000101

予約番号 :

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 藤堂 彰)

(広報費、No. 2)

(領収証等貼付箇所)

納品書 (兼領収書)

〒820-0062
福岡県飯塚市目尾504-45

飯塚市市議会議員 藤堂 彰 様

作成日 : 2025年09月12日
納品書番号 : NR_1990126_18314267_001

〒612-8395 京都市伏見区下鳥羽東岸川町33
email:store@graphic.jp



株式会社グラフィック

代表取締役 西野 能央



商品代金合計

23,500円

【内訳】

消費税10%対象 23,500円 (内税)2,136円

立替金

0円 ※郵便・年賀はがき等

単位 : 円

| カートNo | 注文No 注文日 出荷完了日 | 品名 商品内容 | 印刷・加工料 オプション 代含む | ディスカウント | 調整金 クーポン割引 | 立替金 | 送料 郵送料 投函料 | 手数料 | 使用Pt | カート別 請求合計 |
|----------|--|---|------------------------|---------|---------------|-----|------------------|-----|------|--------------|
| 18316556 | 33615879_001 2025/09/02 2025/09/12 | A3チラシ・フライヤー 7日納期 / 両面カラー コート73kg / 3,900枚 | 23,920 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | ▲420 | 23,500 |
| | | | | | | | | | | |

【お支払い方法】 オンラインID決済

【決済完了日】 2025年09月04日

【納品方法】 ヤマト運輸

【備考】

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 藤堂 彰)

(広報費、No. 3)

(領収証等貼付箇所)

領収書

藤堂 彰 様

[別納引受]
区内特別基(定) 14.0g
@96 147通 ¥14,112

小計 ¥14,112

郵便物引受合計通数 147通
課税計(10%) ¥14,112
(内消費税等(10%) ¥1,282)
非課税計 ¥0

△計 ¥14,112
お預り PayPay ¥14,112



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2025年10月16日 13:02
発行No. 251016A8605 端N96箱01
連絡先: 幸袋郵便局
TEL: 0948-22-0982

<QR決済>
[支払票(売上)]

加盟店名
ニッポンコピィン
TEL 0948-22-0982
伝票番号 06678
ブランド PayPay
端末番号 71134-620-57148
加盟店取引番号
71134620571480006678
ご利用日 2025/10/16 13:02:19

金額 ¥14,112
お客様控え

領収書

領収書番号: 0071-7-000213

納入者住所: 飯塚市目尾504-45

氏名: 藤堂彰 様

| 年度 | 科目 | | |
|----|----|-------------------|----------|
| 7 | 01 | 一般会計 | |
| | 款 | 15 | 使用料及び手数料 |
| | 項 | 01 | 使用料 |
| | 目 | 01 | 総務使用料 |
| | 節 | 01 | 総務管理使用料 |
| 細節 | 09 | 交流センター使用料 細々節 001 | |

領収金額 ¥3,170-

納入期限 2025年10月26日

一括調定番号10726

領収印

上記のとおり領収いたしました。



許可書番号: 0071-7-000283

予約番号:

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 藤堂 彰)

(広報費、No. 4)

(領収証等貼付箇所)

納品書 (兼領収書)

〒820-0062
福岡県飯塚市目尾504-45

飯塚市市議会議員 藤堂 彰 様

作成日 : 2026年05月01日
納品書番号 : NR_1990126_19041062_002

〒612-8395
京都市伏見区下烏羽東芹川町33 1F-6F
株式会社グラフィックネットプリント
代表取締役 西野能央



商品代金合計

26,200円

【内訳】

消費税10%対象

26,200円 (内税)2,382円

立替金

0円 ※郵便・年賀はがき等

単位 : 円

| カートNo | 注文No 注文日 出荷完了日 | 品名 商品内容 | 印刷・加工料 (オプション 代含む) | ディスカウント | 調整金 クーポン割引 | 立替金 | 送料 郵送料 投函料 | 手数料 | 使用Pt | カート別 請求合計 |
|----------|--|---|--------------------------|---------|---------------|-----|------------------|-----|------|--------------|
| 19043351 | 41840360_001 2026/01/07 2026/01/15 | 市政報告 A3チラシ・フライヤー 7日納期 / 両面カラー コート90kg / 3,900枚 | 26,200 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 26,200 |

【お支払い方法】 オンラインID決済

【決済完了日】 2026年01月07日

【納品方法】 ヤマト運輸

【備考】

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 藤堂 彰)

(広報費、No. 5)

(領収証等貼付箇所)

領収書

藤堂 彰 様

[別納引受]
区内特別基 (定) 16.5g
@96 144通 ¥13,824

小 計 ¥13,824

郵便物引受合計通数 144通
課税計(10%) ¥13,824
(内消費税等(10%) ¥1,256)
非課税計 ¥0

△
合計 ¥13,824
お預り PayPay ¥13,824



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2026年 2月13日 14:42
発行No. 260213A0126 端N96箱01
連絡先: 幸袋郵便局
TEL: 0948-22-0982

<QR決済>
[支払票(売上)]

加盟店名 ニッポン
TEL 0948-22-0982
伝票番号 07221
フロント PayPay
端末番号 71134-620-57148
加盟店取引番号 71134620571480007221
ご利用日 2026/02/13 14:42:42

金額 ¥13,824
お客様控え

領収書

領収書番号: 0071-7-000329

納入者 住所 : 飯塚市日尾504-45

氏名 : 藤堂彰 様

| | | | | |
|---|----|----|-------------------|------|
| 7 | 年度 | 科目 | 01 | 一般会計 |
| | 款 | 15 | 使用料及び手数料 | |
| | 項 | 01 | 使用料 | |
| | 目 | 01 | 総務使用料 | |
| | 節 | 01 | 総務管理使用料 | |
| | 細節 | 09 | 交流センター使用料 細々節 001 | |

領収金額 ¥3,170-

納入期限 2026年2月28日

一括調定番号10726

領収印 上記のとおり領収いたしました。



許可書番号 : 0071-7-000435

予約番号 :

とうとうあきら 市政 報告会!

乗合タクシー

幸袋地区内の
移動だと
300円



※乗合タクシーは事前登録が必要です。藤堂 or 幸袋交流センターにお問合わせくださいませ。



※参加費はありません

今回は
日曜日です!
お間違えなく!

日時 **10/26 (日曜)**

場所 **幸袋交流センター**

時間 **9:00~ (1時間ほど)**

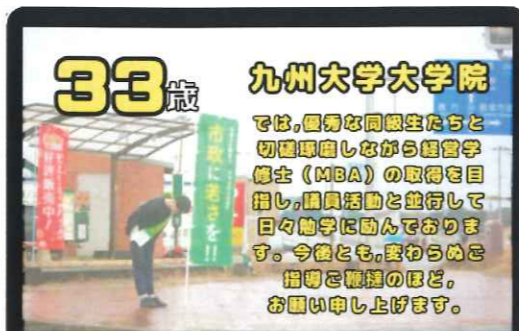
6月28日に開催した「第8回目 報告会」へのご参加ありがとうございました!!!
報告会では、

市政への素朴な疑問、ご要望、今後のまちづくり、...

など賜ればと存じます。市を前進させていく為、一緒に考えて参りましょう。
まだまだ力及ばぬ点もございますが、全力で職務を全うして参ります。一人でも多くの方と伴走できればと思っております。皆さまのご参加お待ちしております。

ご意見欄.

発行責任者：藤堂彰
飯塚市目尾504-45
080-6434-8298



とうとうあきら 活動 報告

No.9 飯塚市議会議員
令和7年8月発行 総務委員/議会運営委員

議員、子育て、学業と、目まぐるしい日々を過ごしております。
また、良く質問頂きます、次回、市議会議員選挙は2027年4月です!



一般質問

本市の
基金運用
について

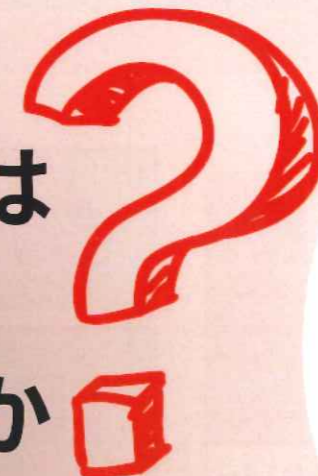
報告会

10/26日

平素は大変お世話になります。飯塚市議会議員の藤堂です。下記にも示しているとおり飯塚市議会において5月臨時会が自然閉会、6月議会もその流れを受け、不安定議会となりました。まずは議会が混乱したことに對し、市議会の一員として、お詫び申し上げます。

さて、6月に第3回定例会が行われ、定例会で審議した案件は、条例議案2件、人事議案2件、専決処分の承認議案5件、その他の議案4件、議員提出議案5件、報告10件であります。本市の課題は多数ありますが、丁寧な議論を重ね、継続して飯塚市の発展を目指し活動して参ります。

なぜ市議会は
< 混乱 >
しているのか



5月15日
【議長不信任】

6月12日
【議長辞職勧告】

- ・辞めない議長が悪い?
- ・出席しない議員が悪い?

要点!

一般質問

飯塚市議 トウドウ



i. 飯塚市の基金の運用状況 について

飯塚市は様々な基金を運用しております。内訳をしてみると20年利付国債（超長期国債）を8本と、偏った運用となっており、流動性が低い状態にあります。市場は日々変化しており、インフレリスクに対応でき、流動性を持たせた、今後の基金運用について質問しております。

トウドウ 本市の基金額また運用状況は。その運用内容はどうなっているのか。

飯塚市 基金総額は約345億円。そのうち約274億8千万円を一括運用している。運用状況は、全体の51%にあたる約140億2千万円を預金として保持し、残りの49%にあたる約134億6千万円を国債で運用している。国債を8本購入しており、いずれも20年利付国債となっている。

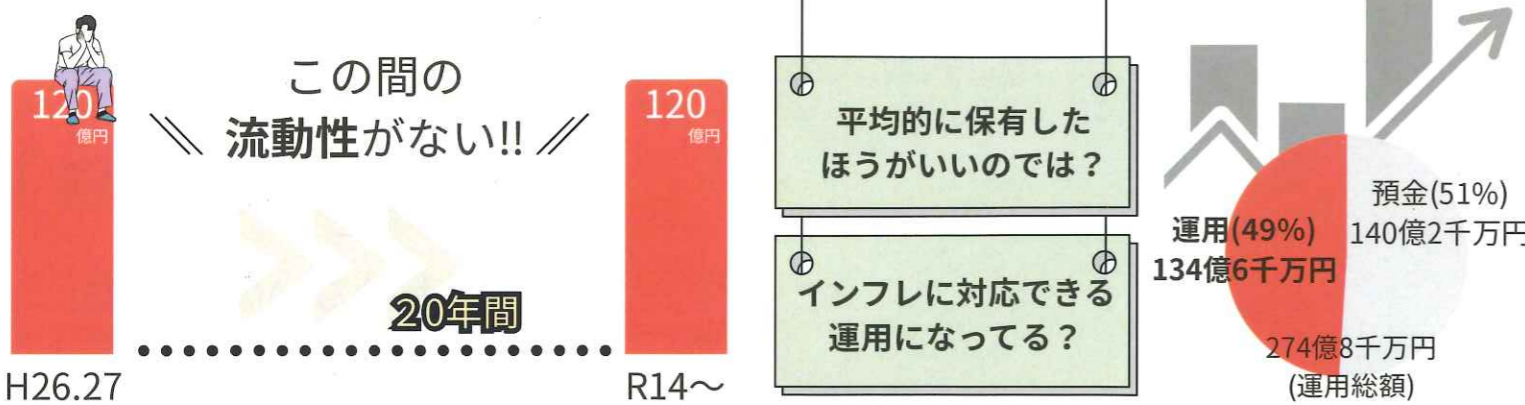
トウドウ 130億6千万円のうち、120億円が超長期国債と偏った運用となっており流動性が担保できていないと考えられるが、この件についての見解を伺う。

飯塚市 債券運用指針に従って財産毀損リスクの極小化を図るとともに、不測の事態に備えて必要な流動性を確保することが重要であると認識している。

トウドウ 地方自治体が運用することは「是」と考えている。なぜならインフレに対応することができるからである。ただ現金を保有するだけでは実質価値が目減りする可能性が高い。しかし本市の運用割合はその全てが超長期国債であり、満期償還の期間に流動性がなく、その間の買い直しなどの機会損失を生んでいる。分散構成の見直しは検討されているのか。

飯塚市 債券運用においては、換金のしやすさを示す「流動性」の視点も重要である。将来的な財政状況や市場動向を総合的に考慮しながら、適切な分散構成のあり方を慎重に検討していく必要があると考えている。また、今後の財政状況や経済情勢を見極め、必要な対応を検討していく予定である。

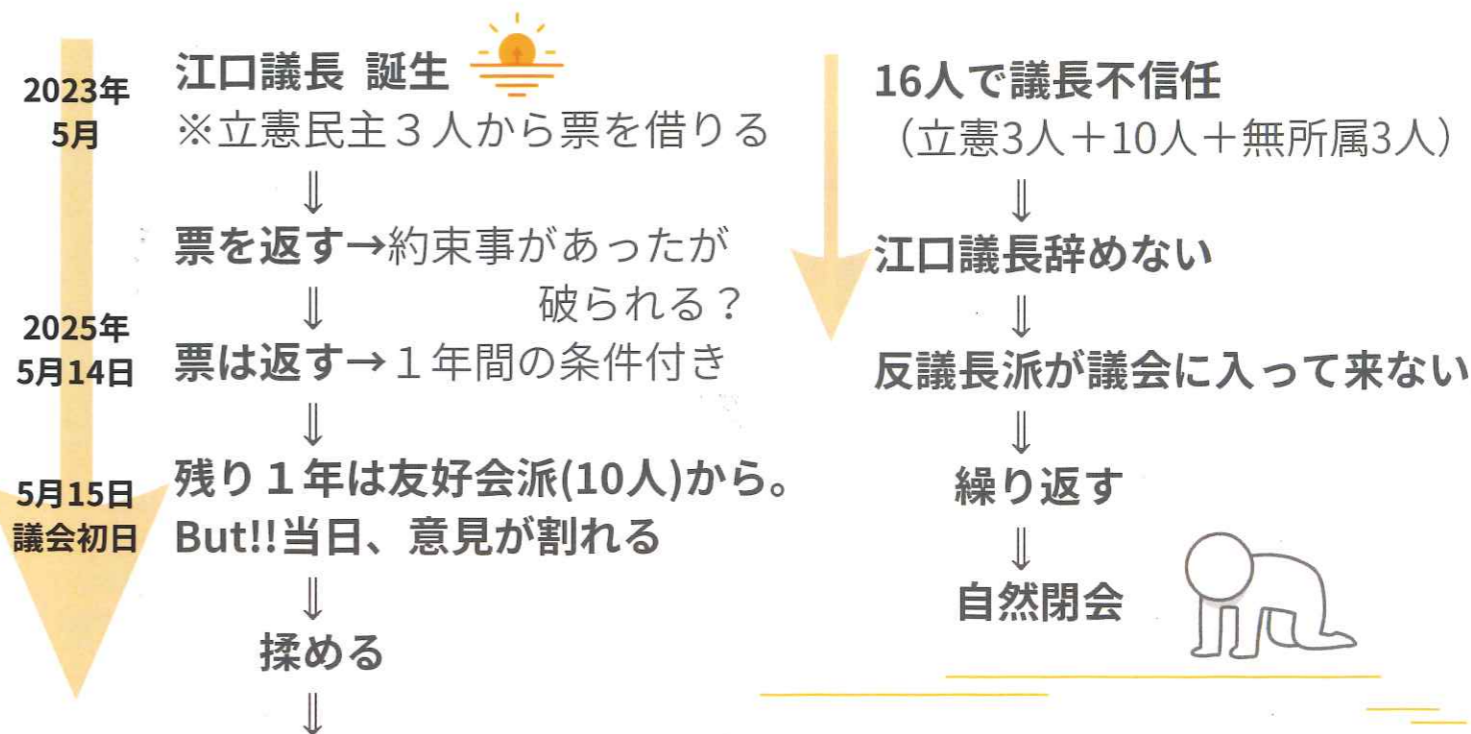
トウドウ 債券については、換金のしやすさを示す「流動性」の視点は重要である。例えば、短期国債を中心にロールオーバーで運用することで変動への柔軟な対応が可能となりまた複数の年限で分散保有する「ラダー型」や短期と長期に分けて安定性と機動性を両立させる「バー・ベル型」といった手法など前向きに検討してほしい。



5月 臨時会

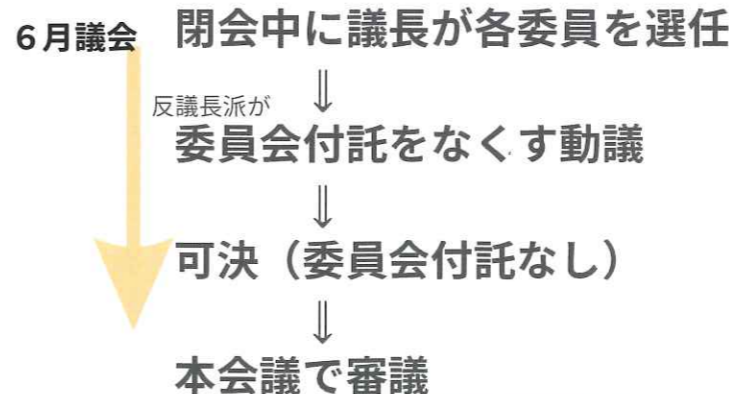
争点は
ごみ処理議会?

議長候補者：佐藤(立憲)、城丸(10人の友好会派)



委員会の選任は民主的だった?

6月 定例会



気になる 藤堂の表決は?

《どちらの味方でもないが!》

議長不信任決議 ⇒ 否
議長辞職勧告決議 ⇒ 否

理由... 議長反対意見側の主張が論理的ではなく理解はするが、賛同できないと判断した為。また討論の場で「誰が議長であれ、議員として職務は全うしなければならない」と発言致しました。

飯塚市議会委員会条例 第8条

常任委員、議会運営委員及び特別委員は議長が会議に諮って指名する。ただし、閉会中においては議長が指名することができる。

揉めたポイント! 条例には記載があるが、立法趣旨と反する



とうとうあきら 市政 報告会!

※参加費はありません



乗合タクシー

幸袋地区内の移動だと
300円



※乗合タクシーは事前登録が必要です。藤堂 or 幸袋交流センターにお問合わせくださいませ。

日時 **2/28 (土曜)**
場所 **幸袋 交流センター**
時間 **13:00~ (1時間ほど)**

「午後」
からです!

10月26日に開催した「第9回目 報告会」へのご参加ありがとうございました!!!
報告会では、

市議会の動向、ごみ処理施設の経過、今後のまちづくり、、、

など賜ればと存じます。市を前進させていく為、一緒に考えて参りましょう。
まだまだ力及ばぬ点もございますが、全力で職務を全うして参ります。一人でも多くの方と伴走できればと思っております。皆さまのご参加お待ちしております。

ご意見欄。

発行責任者：藤堂彰
飯塚市目尾504-45
080-6434-8298

34歳

飯塚市議員としての約5年が経過しました。皆さまの声に向き合いながら、市政の課題解決に取り組んでおります。今後も議会活動を通じて市政の発展に尽力してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

とうとうあきら 活動 報告

旧年中は大変お世話になりました。2026年もどうぞよろしくお願いたします。



一般質問

(ウラ面)
報告会
2/28 土

- 街路樹について
- 総合的インフラ対策について
- 公共施設の在り方について

平素より大変お世話になっております。飯塚市議会議員の藤堂です。昨年5月以降、議会運営が混乱する状況が続いており、市民の皆さまに、ご心配をおかけしていることを心よりお詫び申し上げます。

さて、12月には第5回定例会が開催されました。本定例会では、予算・条例議案38件、人事議案1件、請願2件、議員提出議案5件について審議が行われておりましたが、**議案25件**が審議未了となり、やむを得ず専決処分とされる結果となりました。十分な議論を尽くせないまま会期を終えてしまう現状に、強い課題意識を抱いております。いまの議会が、本当に市民の皆さまの声を的確に市政へ反映できているのか。立ち止まって考える必要があると感じています。

本市の大きな課題の一つは財政であります。そのため、今回の一般質問では、「公共施設の在り方について」取り上げました。今後も丁寧な議論を重ねながら、飯塚市の持続的な発展に向けて、継続して取り組んでまいります。

要点! 一般質問.



i. 街路樹について

令和4年9月に質問しておりました街路樹についてでございますが、前回、伐採計画に関するご答弁をいただいておりますので、その内容を踏まえ、改めて追い質問をさせていただきました。

トウドウ 市道沿いの街路樹について、根上りや老朽化による安全面の課題がありますが、今後どのように対応していくのか。

飯塚市 危険性の高い箇所から順次調査を行い、優先順位を付けながら、計画的に維持管理を進めていきます。

トウドウ 市民ニーズも高い課題であることから、市民の安全を最優先に、費用面も工夫しつつ、着実に取り組んでいくよう要望する。



ii. 総合的インフルエンザ対策について

今シーズンはインフルエンザが例年より早期に猛威を振るい、学級閉鎖が相次ぎました。その結果、学習環境や家庭の経済面にも影響が生じています。一方で、高齢者へのインフルエンザ対策は一定程度講じられているものの、子どもへの施策については十分とは言えず、対応の強化が求められていると考えます。

トウドウ 今年はインフルエンザの流行が早く、本市でも学級閉鎖が発生している。現在の感染状況をどのように把握しているのか。

飯塚市 県内の定点医療機関の報告では、例年より早い時期から感染が拡大し、注意報レベルに達している。

トウドウ 予防の観点ではワクチン接種が重要である。就学前の子どもを対象に助成した場合、規模はどの程度になるのか。

飯塚市 対象は約2,500人で、1人あたり半額補助とした場合、年間で約1,000万円程度の予算が必要となる。

トウドウ **子どもを守ることは、高齢者を守ることもつながる(注)。** 世代を超えた感染拡大防止の観点で総合的なインフルエンザ対策を検討していくよう要望する。

(注) Optimizing influenza prevention: a systematic review of influenza vaccine effectiveness and herd immunity effects (2025)

iii. 公共施設の在り方について

公共施設の再編は、**本来あまり語りたくない議論**です。しかし先送りすれば、その負担は将来世代(こども達)に残ります。本市では、10年間で約4万5千㎡の施設縮減を計画していますが、**進捗は約42%**。合併により同種・同質の公共施設を多く抱える本市にとって、人口や利用実態に見合った規模への見直しは避けて通れません。だからこそ、どんなまちを目指すのかという【**グランドデザイン**】が不可欠であり、その方向性を示す責任が市のトップにはあると考え、今回の質問を行いました。

トウドウ 公共施設等のあり方に関する基本方針を策定した目的は何か。

飯塚市 人口減少や施設の老朽化に対応し、安全・安心な公共サービスを将来にわたって維持するため、公共施設を総合的に管理する目的である。

トウドウ 公共施設の総量最適化として、どのような数値目標を掲げているのか。

飯塚市 公共建築物の延床面積を10年間で約4万5千㎡縮減する目標としている。

トウドウ 進捗が遅れている要因はどこにあるのか。

飯塚市 市営住宅は縮減目標2万5千㎡に対し、実績は7,661㎡、進捗率は約30%にとどまっており、全体の進捗に影響している。

トウドウ 計画が遅れた場合、調整・判断の責任は誰が担うのか。

飯塚市 進捗は行政経営部が一元管理し、調整・判断の実務責任者は行政経営部長、最終決定者は市長である。

トウドウ 公共施設の再編は将来像を実現するための手段である。方向性が明確でなければ現場は動きにくい。最終決定者としてどう認識しているのか。

市長 進捗が十分でなかった点は認識しており、PDCAサイクルや庁内連携を見直しながら、次期の基本方針・実施計画の策定を進めていく。

市営住宅の見直しは政策的移転が8件にとどまり、多くが自然減に依存している状況である。戸数管理と面積縮減の整合性を数字上で合わせるだけでなく、棟単位で確実に面積が減る実行シナリオと、それを支える予算措置を一体で示す必要がある。公共施設の再編は「減らすこと」が目的ではなく、飯塚市の将来像をどう描くのかという【**グランドデザイン**】を実現するための手段である。学校・公営住宅・市民施設といった施設区分ごとの役割を整理し、市全体としての【**グランドデザイン**】を明確に示したうえで、再編や配置の考え方を計画に落とし込むべきである。その際には、数字合わせや机上の整理にとどまらず、入居者や利用者の生活実態、現場職員の知見を踏まえた、**次の世代に確かな形で引き継ぐことのできる「血の通った計画」**を構築することを要望する。

